

LCD Segment Drivers

多機能 LCD セグメント ドライバ

BU97530KVT

MAX445 セグメント(89SEGx5COM)

概要

BU97530KVTは1/5、1/4、1/3デューティ、Static汎用LCD表示ドライバです。
BU97530KVTは最大445セグメントのLCDを表示することが可能です。
また、最大9出力の汎用/PWM出力を制御することができ、最大で30 KeyのKeyスキャン機能も内蔵していますので、PCB上配線の削減が可能です。

重要特性

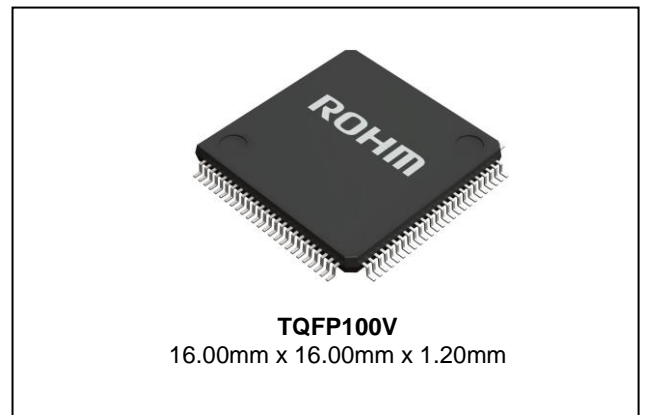
- 電源電圧範囲: +2.7V ~ +6.0V
- 動作温度範囲: -40°C ~ +85°C
- 最大セグメント数: 445 セグメント
- 表示デューティ: Static, 1/3, 1/4, 1/5 切替え可能
- バイアス: 1/2, 1/3 切替え可能
- インタフェース: 3線式シリアルインタフェース

特長

- 最大 30 の Key 入力機能(Key を押したときのみ Key スキャンを行います)
- 1/5, 1/4, 1/3, Static 駆動選択可能
- 1/5 デューティ 駆動: 最大 445 セグメント駆動可能
- 1/4 デューティ 駆動: 最大 360 セグメント駆動可能
- 1/3 デューティ 駆動: 最大 270 セグメント駆動可能
- Static 駆動: 最大 90 セグメント駆動可能
- 表示フレーム周波数設定可能
- セグメント/汎用/PWM(最大 9 出力)出力切替え可能
- 発振回路内蔵
- 電圧検知型リセット(VDET)回路内蔵
- 外部部品不要
- 低消費電力設計
- ライン/フレーム反転選択可能

パッケージ

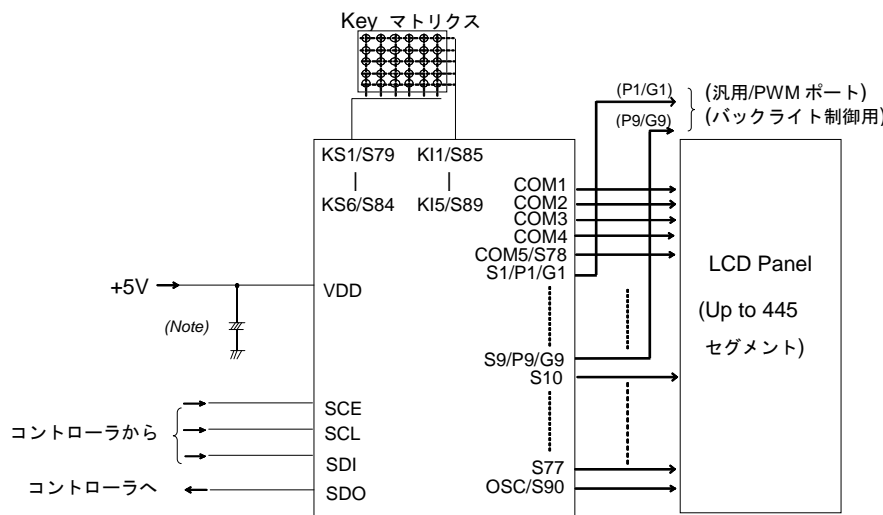
W(Typ) x D(Typ) x H(Max)



用途

- カーオーディオ,家電機器,メータ機器など

基本アプリケーション回路



(Note) 電源ラインにコンデンサを挿入してください。(バスコン) C≥0.1μF

Figure 1. 基本アプリケーション回路

○製品構造：シリコンモノリシック集積回路 ○耐放射線設計はされておりません

ブロック図

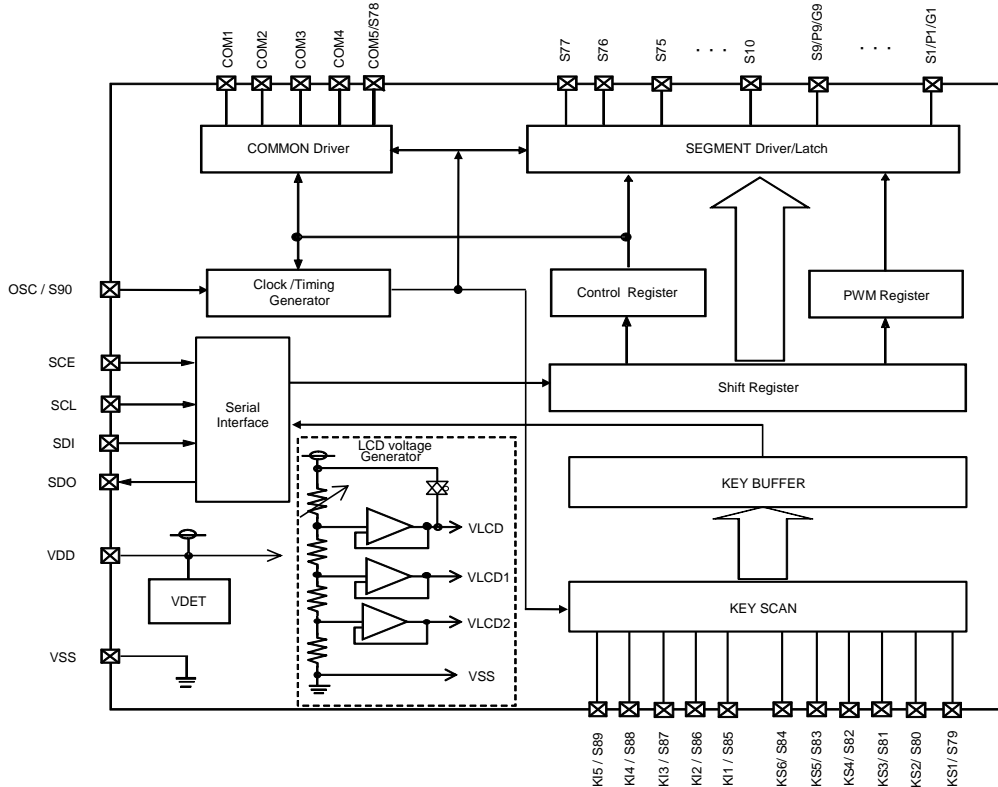


Figure 2. ブロック図

端子配置図

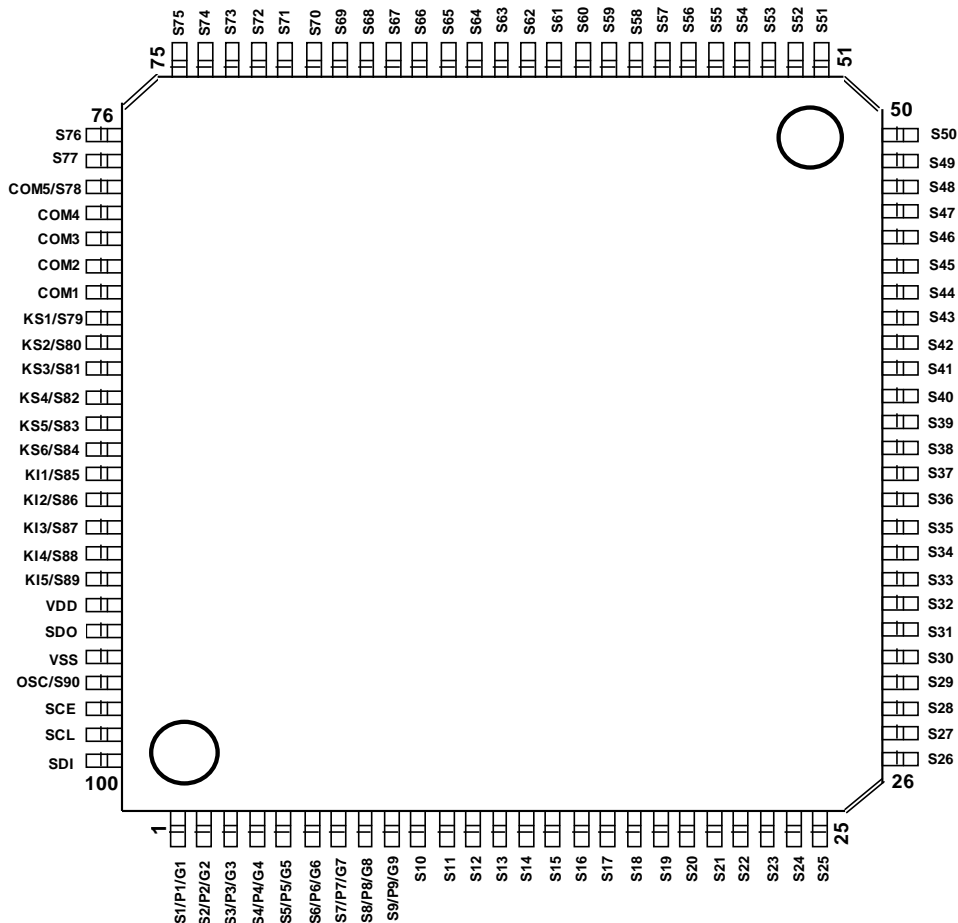


Figure 3. 端子配置図(TOP VIEW)

絶対最大定格(VSS = 0.0V)

項目	記号	端子・条件	定格	単位
電源電圧	VDD	VDD	-0.3 ~ +7.0	V
入力電圧	V _{IN1}	SCE, SCL, SDI, OSC	-0.3 ~ +7.0	V
	V _{IN2}	KI1 ~ KI5	-0.3 ~ +7.0	V
許容損失	Pd	-	1.49 ^(Note)	W
動作温度範囲	Topr	-	-40 ~ +85	°C
保存温度範囲	Tstg	-	-55 ~ +125	°C

(Note) Ta=25°C 以上で使用する場合は、1°Cにつき、1.49mW を減じます。(ローム標準基板実装時)

(基板サイズ: 70mm×70mm×1.6mm 材質: FR4 ガラエポ基板 銅箔: ランドパターンのみ)

注意 1: 印加電圧及び動作温度範囲などの絶対最大定格を超えた場合は、劣化または破壊に至る可能性があります。また、ショートモードもしくはオープンモードなど、破壊状態を想定できません。絶対最大定格を超えるような特殊モードが想定される場合、ヒューズなどの物理的な安全対策を施していただけるようご検討をお願いします。

注意 2: 最高接合部温度を超えるようなご使用をされますと、チップ温度上昇により、IC 本来の性質を悪化させることにつながります。最高接合部温度を超える場合は基板サイズを大きくする、放熱用銅箔面積を大きくする、放熱板を使用するなど、最高接合部温度を越えないよう許容損失にご配慮ください。

推奨動作条件(Ta = -40°C ~ +85°C、VSS = 0.0V)

項目	記号	条件	定格			単位
			Min	Typ	Max	
電源電圧	VDD	-	2.7	5.0	6.0	V

電気的特性(Ta = -40°C ~ +85°C、VDD = 2.7V ~ 6.0V、VSS = 0.0V)

項目	記号	端子	条件	規格値			単位
				Min	Typ	Max	
ヒステリシス幅	V _{H1}	SCE, SCL, SDI, OSC	-	-	0.03VDD	-	V
	V _{H2}	KI1 ~ KI5	-	-	0.1VDD	-	
VDET 電圧検知	V _{DET}	VDD	-	1.4	1.8	2.2	V
“H”レベル入力電圧	V _{IH1}	SCE, SCL, SDI, OSC	4.0V ≤ VDD ≤ 6.0V	0.4VDD	-	VDD	V
	V _{IH2}	SCE, SCL, SDI, OSC	2.7V ≤ VDD < 4.0V	0.8VDD	-	VDD	
	V _{IH3}	KI1 ~ KI5	-	0.7VDD	-	VDD	
“L”レベル入力電圧	V _{IL1}	SCE, SCL, SDI, OSC KI1 ~ KI5	-	0	-	0.2VDD	V
入力フローティング電圧	V _{IF}	KI1 ~ KI5	-	-	-	0.05VDD	V
プルダウン抵抗	R _{PD}	KI1 ~ KI5	VDD=5.0V	50	100	250	kΩ
出力オフリーク電流	I _{OFFH}	SDO	V _O =6.0V	-	-	6.0	μA
入力“H”レベル電流	I _{IH1}	SCE, SCL, SDI, OSC	V _I = 5.5V	-	-	5.0	μA
入力“L”レベル電流	I _{IL1}	SCE, SCL, SDI, OSC	V _I = 0V	-5.0	-	-	μA
出力“H”レベル電圧	V _{OH1}	S1 ~ S90	I _O =-20μA VLCD=1.00*VDD	VDD-0.9	-	-	V
	V _{OH2}	COM1 ~ COM5	I _O =-100μA VLCD=1.00*VDD	VDD-0.9	-	-	
	V _{OH3}	P1/G1 ~ P9/G9	I _O = -1mA	VDD-0.9	-	-	
	V _{OH4}	KS1 ~ KS6	I _O = -500μA	VDD-1.0	VDD-0.5	VDD-0.2	
出力“L”レベル電圧	V _{OL1}	S1 ~ S90	I _O = 20μA	-	-	0.9	V
	V _{OL2}	COM1 ~ COM5	I _O = 100μA	-	-	0.9	
	V _{OL3}	P1/G1 ~ P9/G9	I _O = 1mA	-	-	0.9	
	V _{OL4}	KS1 ~ KS6	I _O = 25μA	0.2	0.5	1.5	
	V _{OL5}	SDO	I _O = 1mA	-	0.1	0.5	
出力中間レベル電圧	V _{MID1}	S1 ~ S90	1/2 バイアス I _O = ±20μA VLCD=1.00*VDD	1/2VDD -0.9	-	1/2VDD +0.9	V
	V _{MID2}	COM1 ~ COM5	1/2 バイアス I _O = ±100μA VLCD=1.00*VDD	1/2VDD -0.9	-	1/2VDD +0.9	
	V _{MID3}	S1 ~ S90	1/3 バイアス I _O = ±20μA VLCD=1.00*VDD	2/3VDD -0.9	-	2/3VDD +0.9	
	V _{MID4}	S1 ~ S90	1/3 バイアス I _O = ±20μA VLCD=1.00*VDD	1/3VDD -0.9	-	1/3VDD +0.9	
	V _{MID5}	COM1 ~ COM5	1/3 バイアス I _O = ±100μA VLCD=1.00*VDD	2/3VDD -0.9	-	2/3VDD +0.9	
	V _{MID6}	COM1 ~ COM5	1/3 バイアス I _O = ±100μA VLCD=1.00*VDD	1/3VDD -0.9	-	1/3VDD +0.9	

電气的特性(続き)

項目	記号	端子	条件	規格値			単位
				Min	Typ	Max	
電源電流	I _{DD1}	VDD	パワーセーブモード	-	-	15	μA
	I _{DD2}	VDD	VDD = 5.0V 出力オープン 1/2 バイアス フレーム周波数 = 80Hz VLCD = 1.00 * VDD	-	100	200	
	I _{DD3}	VDD	VDD = 5.0V 出力オープン 1/3 バイアス フレーム周波数 = 80Hz VLCD = 1.00 * VDD	-	130	250	

発振周波数特性(Ta = -40°C ~ +85°C、VDD = 2.7V ~ 6.0V、VSS = 0V)

項目	記号	端子	条件	規格値			単位
				Min	Typ	Max	
発振周波数 1	f _{OSC1}	-	VDD = 2.7V ~ 6.0V	300	-	720	kHz
発振周波数 2	f _{OSC2}	-	VDD = 5V	510	600	690	kHz
外部クロック周波数 ^(Note)	f _{OSC3}	OSC/S90	外部クロックモード(OC=1)	30	-	1000	kHz
外部クロック立ち上がり時間	tr			-	160	-	ns
外部クロック立ち下がり時間	tf			-	160	-	ns
外部クロックデューティ	tdTY			30	50	70	%

(Note) フレーム周波数は外部クロックを FC0,FC1,FC2,FC3 で設定した値で分周された値になります。

【参考データ】

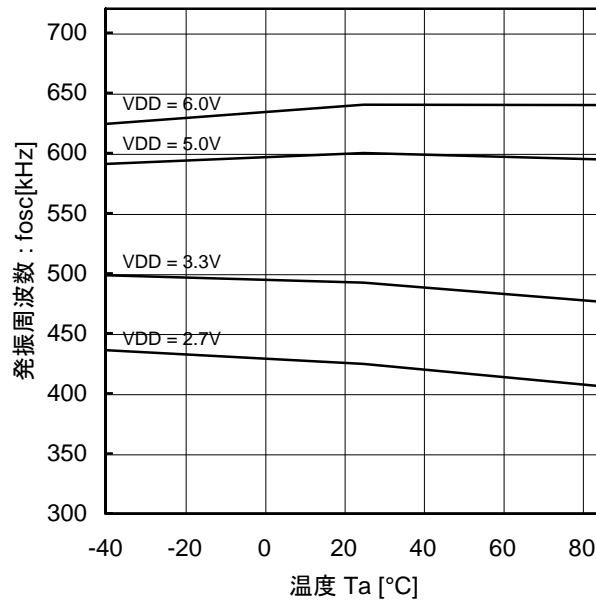


Figure 4. 発振周波数温度特性(Typ)

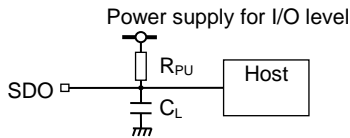
MPU Interface 特性 (Ta = -40°C ~ +85°C, VDD = 2.7V ~ 6.0V, VSS = 0.0V)

項目	記号	端子	条件	規格値			単位
				Min	Typ	Max	
Data Setup 時間	t _{DS}	SCL、SDI	-	120	-	-	ns
Data Hold 時間	t _{DH}	SCL、SDI	-	120	-	-	ns
SCE Wait 時間	t _{CP}	SCE、SCL	-	120	-	-	ns
SCE Setup 時間	t _{CS}	SCE、SCL	-	120	-	-	ns
SCE Hold 時間	t _{CH}	SCE、SCL	-	120	-	-	ns
Clock Cycle 時間	t _{CCYC}	SCL	-	320	-	-	ns
“H” SCL パルス幅	t _{CHW}	SCL	-	120	-	-	ns
“L” SCL パルス幅(Write)	t _{CLWW}	SCL	-	120	-	-	ns
“L” SCL パルス幅(Read)	t _{CLWR}	SCL	R _{PU} =4.7kΩ C _L =10pF(Notes)	1.6	-	-	μs
入力立ち上がり時間	t _r	SCE、SCL、SDI	-	-	160	-	ns
入力立ち下がり時間	t _f	SCE、SCL、SDI	-	-	160	-	ns
SDO 出力遅延時間	t _{DC}	SDO	R _{PU} =4.7kΩ C _L =10pF(Notes)	-	-	1.5	μs
SDO 立ち上がり時間	t _{DR}	SDO	R _{PU} =4.7kΩ C _L =10pF(Notes)	-	-	1.5	μs

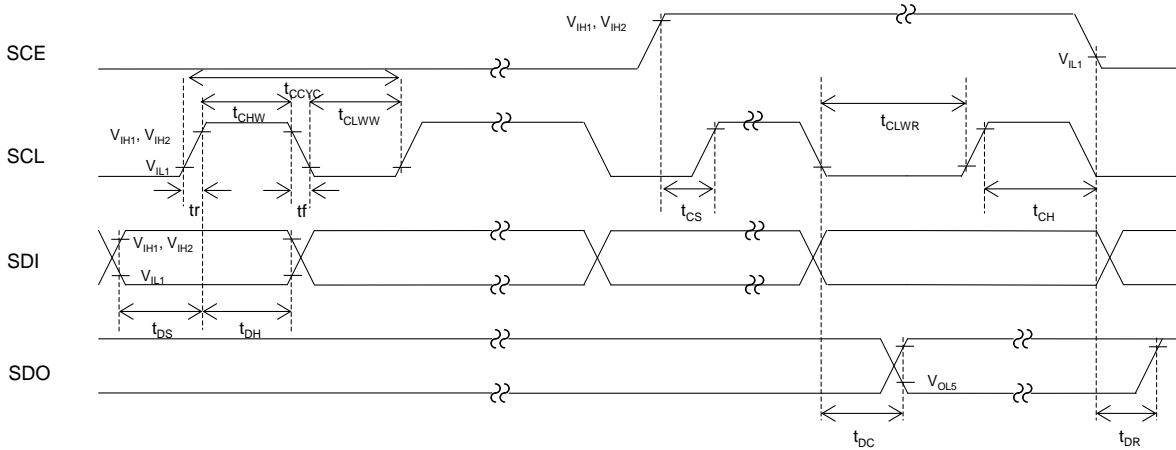
(Note) SDO はオープンドレイン出力なので t_{DC} と t_{DR} はプルアップ抵抗 R_{PU} 及び負荷容量 C_L の値により変化します。

R_{PU} : 1kΩ ~ 10kΩ が推奨値になります。

C_L : アプリケーション回路中の寄生容量。部品をつける必要はありません。



1. SCL が「L」レベルで停止している場合



2. SCL が「H」レベルで停止している場合

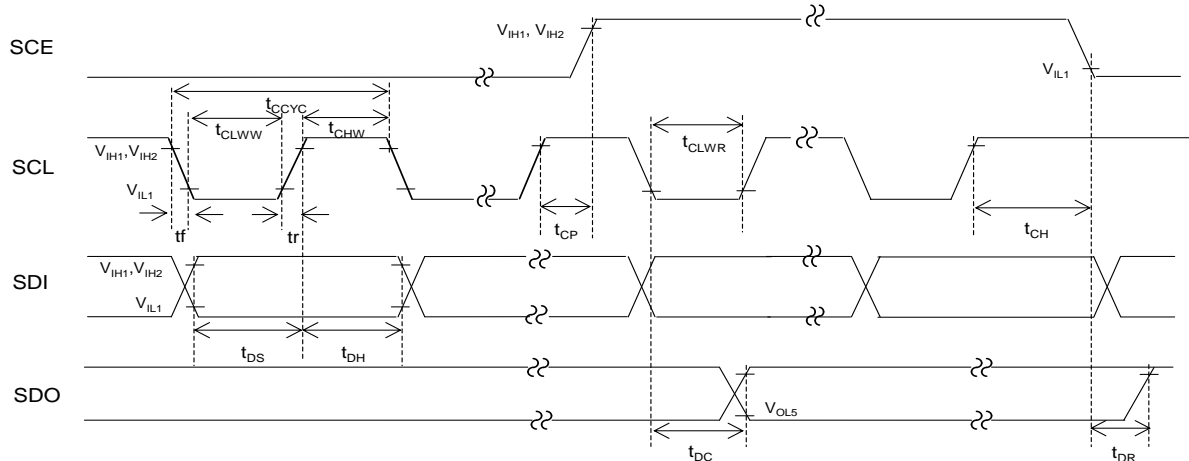


Figure 5. シリアルインタフェースタイミング

端子説明

端子名	端子番号	機能	Active	I/O	未使用時の処理
S1/P1/G1 ~S9/P9/G9	1 ~ 9	シリアルデータ入力により転送された表示データを表示するセグメント出力端子です。また、制御データにより、S1/P1/G1 ~ S9/P9/G9 は、汎用出力もしくは PWM 出力端子として使用することができます。	-	O	OPEN
S10 ~ S77	10 ~ 77	シリアルデータ入力により転送された表示データを表示するセグメント出力端子です。	-	O	OPEN
KS1/S79 ~ KS6/S84	83 ~ 88	Key スキャン用出力端子です。 Key マトリクスを構成する場合、通常、Key スキャンのタイミングラインにダイオードをつけてショートを防ぎますが、出力トランジスタのインピーダンスがアンバランスの CMOS 出力であるため、ショートしても破壊しない構成になっています。KS1/S79 ~ KS6/S84 は制御データによりセグメント出力として使用することができます。	-	O	OPEN
KI1/S85 ~ KI5/S89	89 ~ 93	Key スキャン用入力端子で、プルダウン抵抗が内蔵されています。制御データで切替えることにより KI1/S85 ~ KI5/S89 はセグメント出力として使用することができます。	-	I O	VSS OPEN
COM1 ~ COM4	79 ~ 82	コモンドライバ出力端子です。 フレーム周波数は fo[Hz]です。	-	O	OPEN
COM5/S78	78	コモン/セグメントドライバ出力端子です。 1/5 デューティモード時はコモンドライバ出力、Static、1/3、1/4 デューティモード時はセグメントドライバ出力です。	-	O	OPEN
OSC/S90	97	シリアルデータ入力により転送された表示データを表示するセグメント出力端子です。 また、制御データにより外部クロック入力として使用することができます。	-	I O	VSS OPEN
SCE SCL SDI	98 99 100	シリアルデータの入力端子です。コントローラと接続します。 SCE: チップイネーブル SCL: シリアルデータ転送クロック SDI: 転送データ	H ┌ └ -	I I I	VSS VSS VSS
SDO	95	出力データ	-	O	OPEN
VDD	94	電源供給端子。 2.7V ~ 6.0V を供給します。	-	-	-
VSS	96	電源供給端子。Ground を接続します。	-	-	-

入出力等価回路図

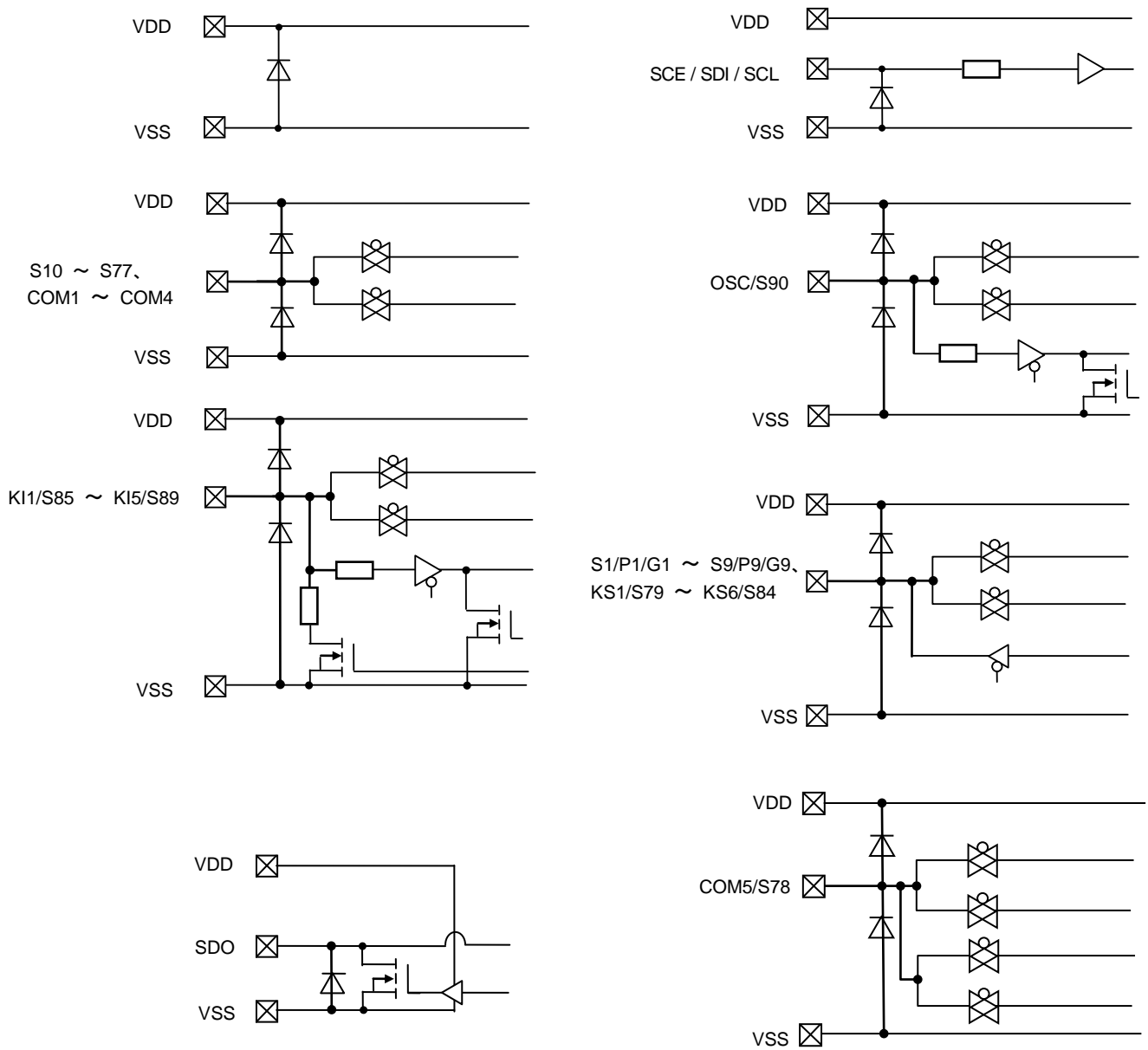


Figure 6. 入出力等価回路図

シリアルデータ入力

1. 1/5 デューティ時

(1) SCL が「L」レベルで停止している場合

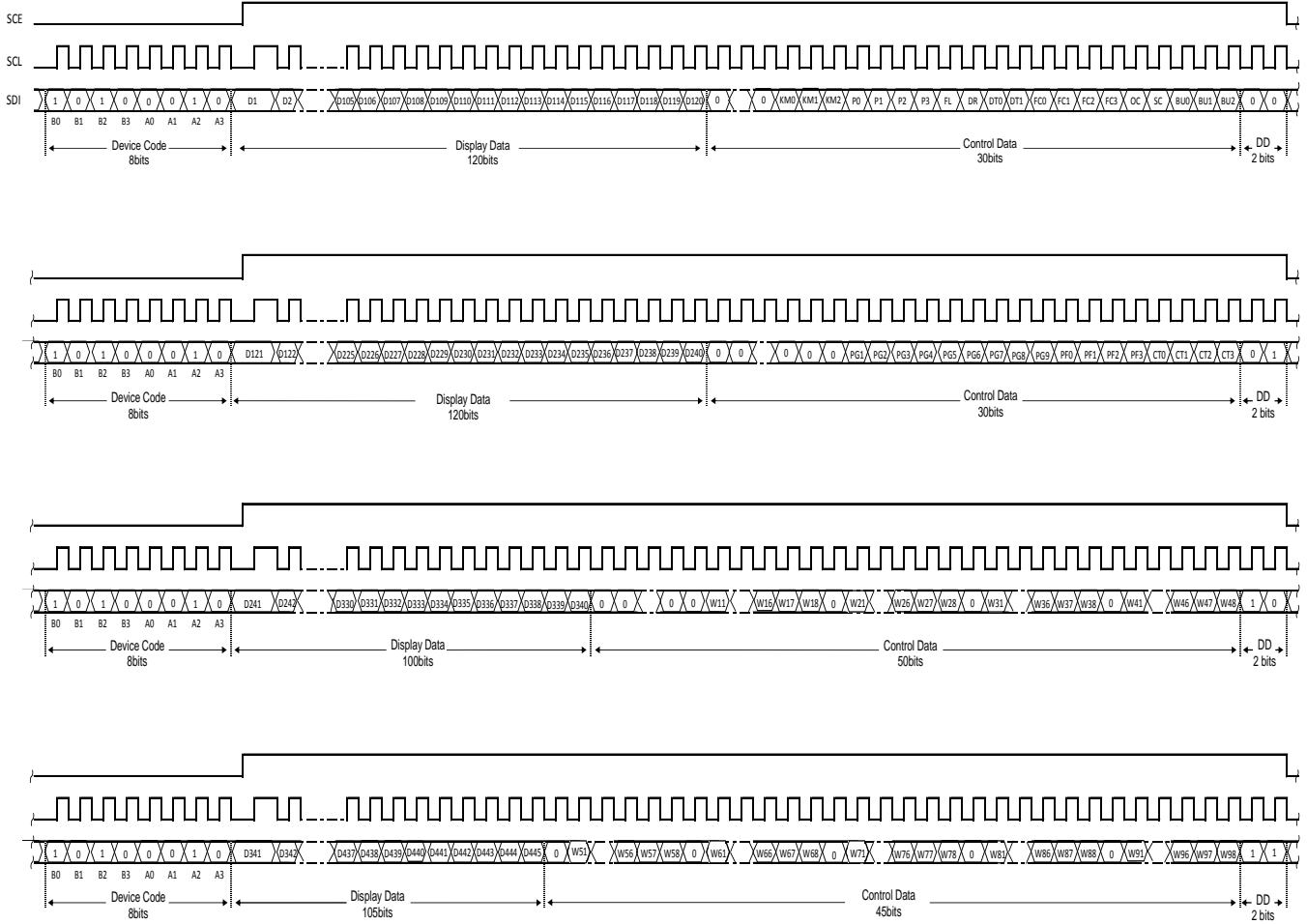


Figure 7. シリアルデータ入力

シリアルデータ入力(続き)

(2) SCL が「H」 レベルで停止している場合

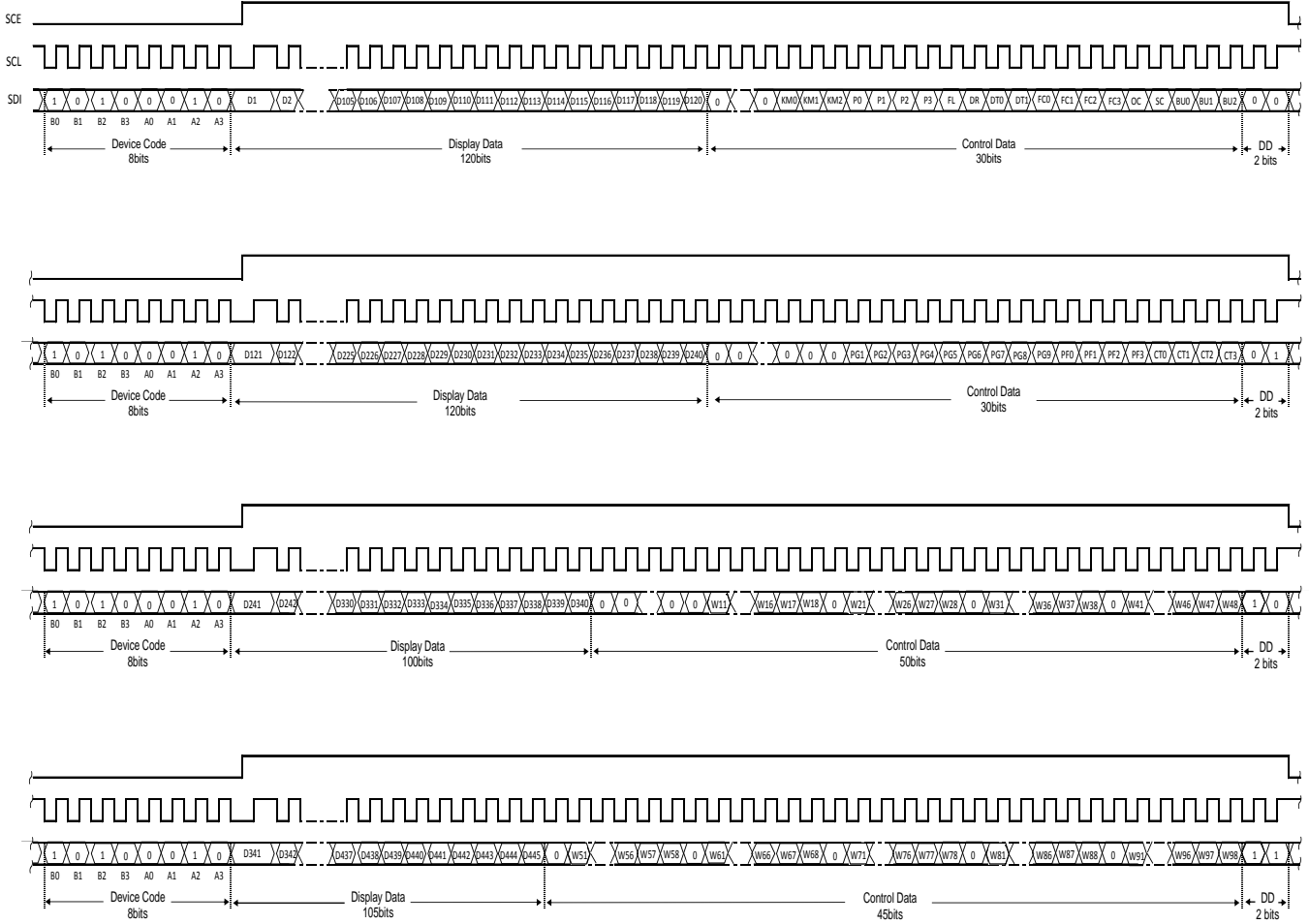


Figure 8. シリアルデータ入力

- デバイスコード “45H”
- KM0 ~ KM2 Key スキャン出力/セグメント出力切り替え制御データ
- D1 ~ D445 表示データ
- P0 ~ P3 セグメント/PWM/汎用出力端子切り替え制御データ
- FL ライン反転/フレーム反転切り替え制御データ
- DR 1/3 バイアス駆動/1/2 バイアス駆動切り替え制御データ
- DT0 ~ DT1 1/5 デューティ/1/4 デューティ/1/3 デューティ/Static 駆動切り替え制御データ
- FC0 ~ FC3 コモン/セグメント出力波形のフレーム周波数切り替え制御データ
- OC 内部発振モード/外部クロックモード切り替え制御データ
- SC セグメント点灯/消灯切り替え制御データ
- BU0 ~ BU2 ノーマルモード/パワーセーブモード切り替え制御データ
- PG1 ~ PG9 PWM/汎用出力切り替え制御データ
- PF0 ~ PF3 PWM 出力用フレーム周波数切り替え制御データ
- CT0 ~ CT3 LCD 表示コントラスト設定切り替え制御データ
- W11~W18, W21~W28, W31~W38, W41~W48, W51~W58, W61~W68, W71~W78, W81~W88, W91~W98
..... PWM 出力デューティ切り替え制御データ
- DD ディレクションデータ

BU97530KVT はデバイスコードが一致すれば、その後の SCE の立下りで表示データと制御データを取り込みます。そのため、表示データと制御データの bit 数は上図の規定数通りに転送してください。規定 bit 数は 160bit になります。(Device code: 8bit, Display data and Control data: 150bit, DD: 2bit)

シリアルデータ入力(続き)

2. 1/4 デューティ時

(1) SCL が「L」レベルで停止している場合

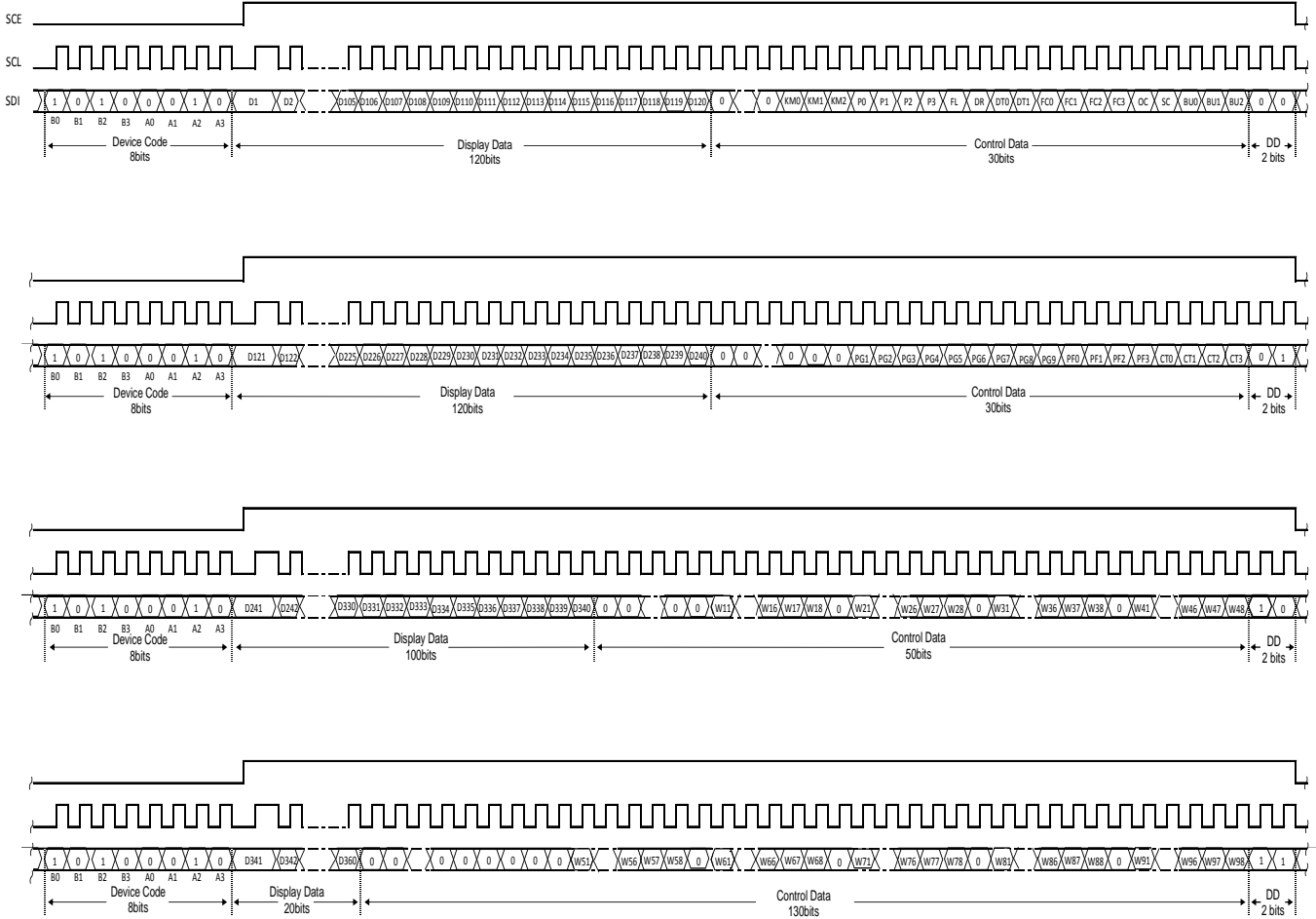


Figure 9. シリアルデータ入力

シリアルデータ入力(続き)

(2) SCLが「H」レベルで停止している場合

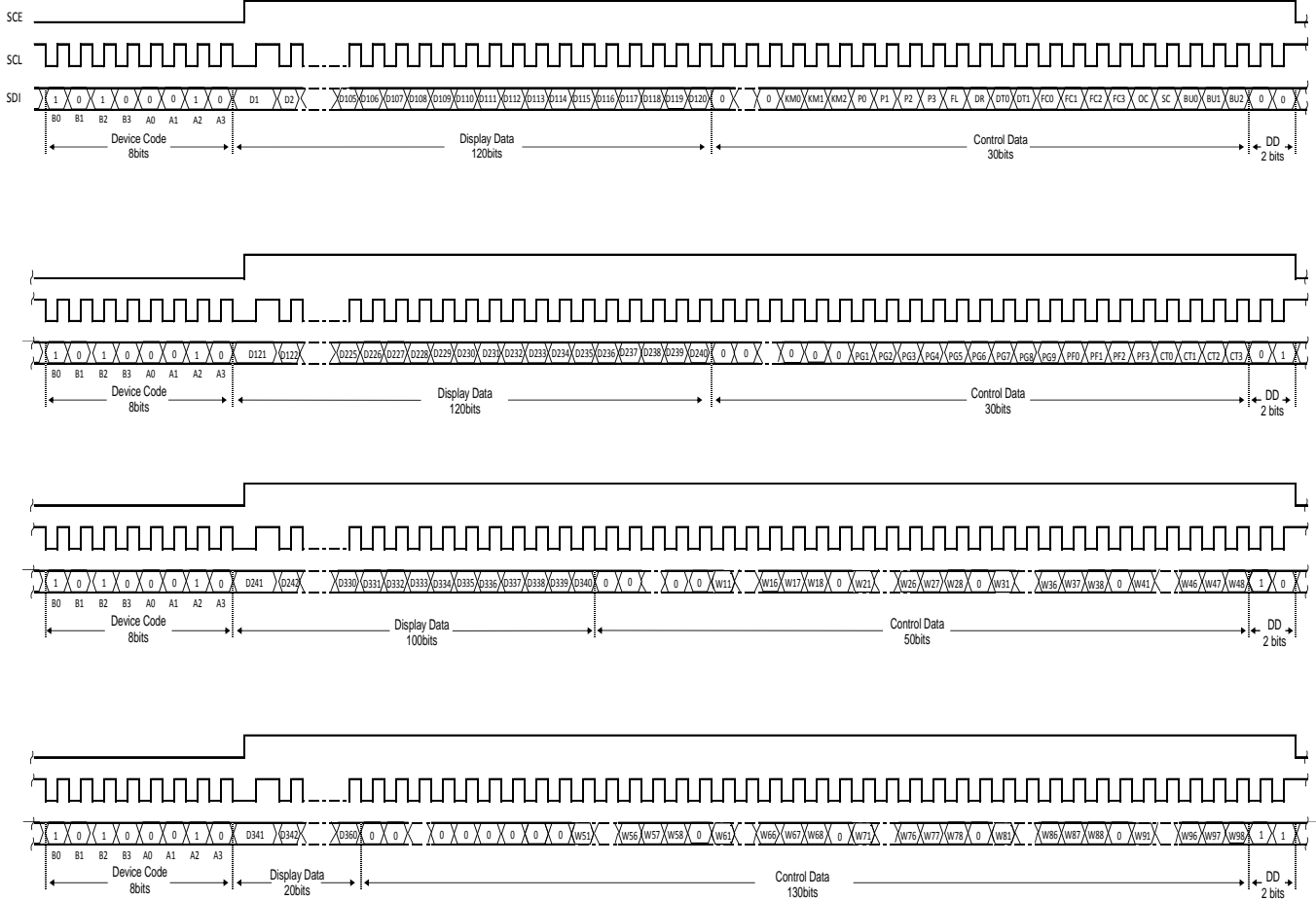


Figure 10. シリアルデータ入力

- デバイスコード “45H”
- KM0 ~ KM2 Key スキャン出力/セグメント出力切り替え制御データ
- D1 ~ D360 表示データ
- P0 ~ P3 セグメント/PWM/汎用出力端子切り替え制御データ
- FL ライン反転/フレーム反転切り替え制御データ
- DR 1/3 バイアス駆動/1/2 バイアス駆動切り替え制御データ
- DT0 ~ DT1 1/5 デューティ/1/4 デューティ/1/3 デューティ/Static 駆動切り替え制御データ
- FC0 ~ FC3 コモン/セグメント出力波形のフレーム周波数切り替え制御データ
- OC 内部発振モード/外部クロックモード切り替え制御データ
- SC セグメント点灯/消灯切り替え制御データ
- BU0 ~ BU2 ノーマルモード/パワーセーブモード切り替え制御データ
- PG1 ~ PG9 PWM/汎用出力切り替え制御データ
- PF0 ~ PF3 PWM 出力用フレーム周波数切り替え制御データ
- CT0 ~ CT3 LCD 表示コントラスト設定切り替え制御データ
- W11~W18, W21~W28, W31~W38, W41~W48, W51~W58, W61~W68, W71~W78, W81~W88, W91~W98
..... PWM 出力デューティ切り替え制御データ
- DD ディレクションデータ

BU97530KVT はデバイスコードが一致すれば、その後の SCE の立下りで表示データと制御データを取り込みます。そのため、表示データと制御データの bit 数は上図の規定数通りに転送してください。規定 bit 数は 160bit になります。(Device code: 8bit, Display data and Control data: 150bit, DD: 2bit)

シリアルデータ入力(続き)

3. 1/3 デューティ時

(1) SCLが「L」レベルで停止している場合

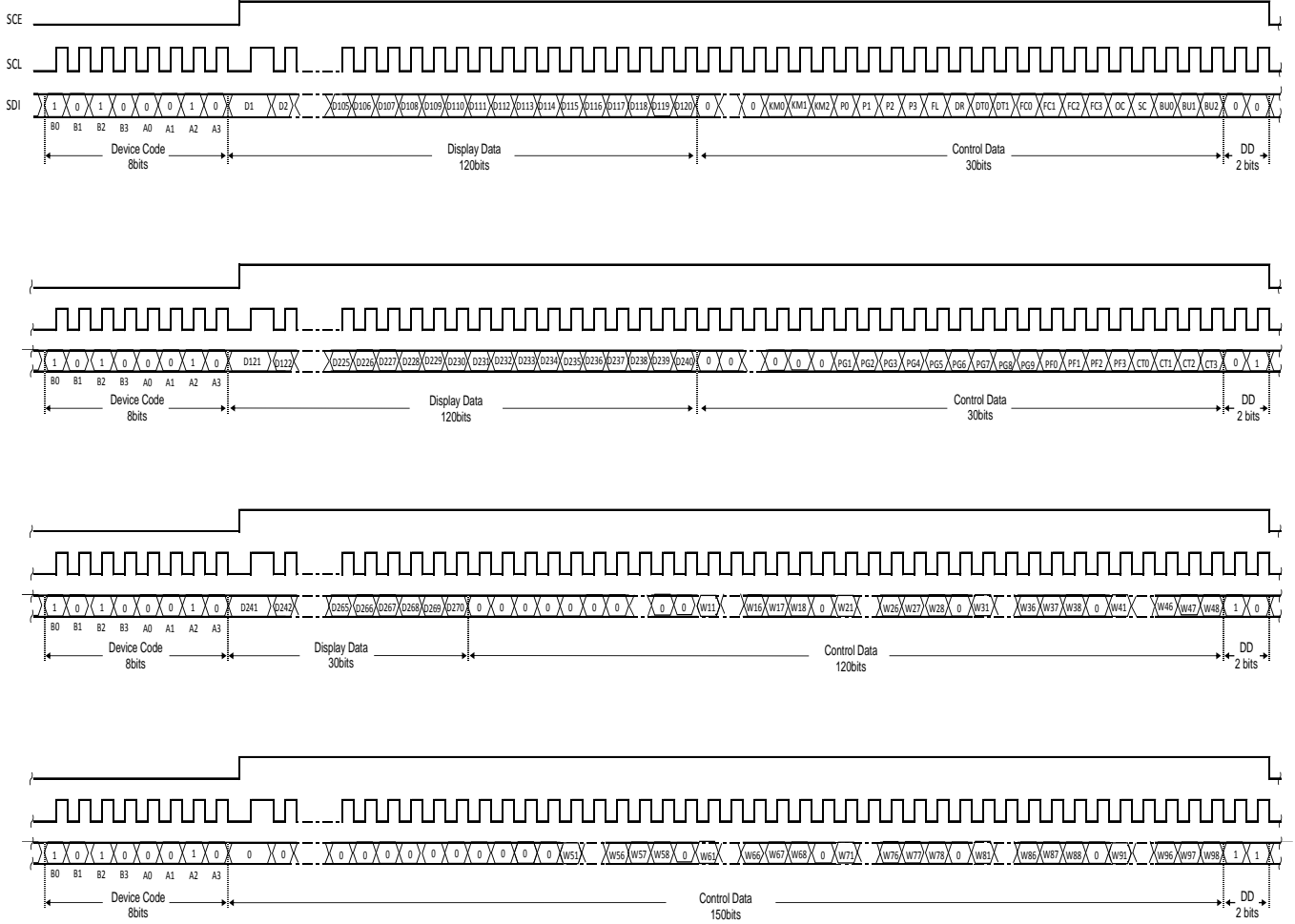


Figure 11. シリアルデータ入力

シリアルデータ入力(続き)

(2) SCLが「H」レベルで停止している場合

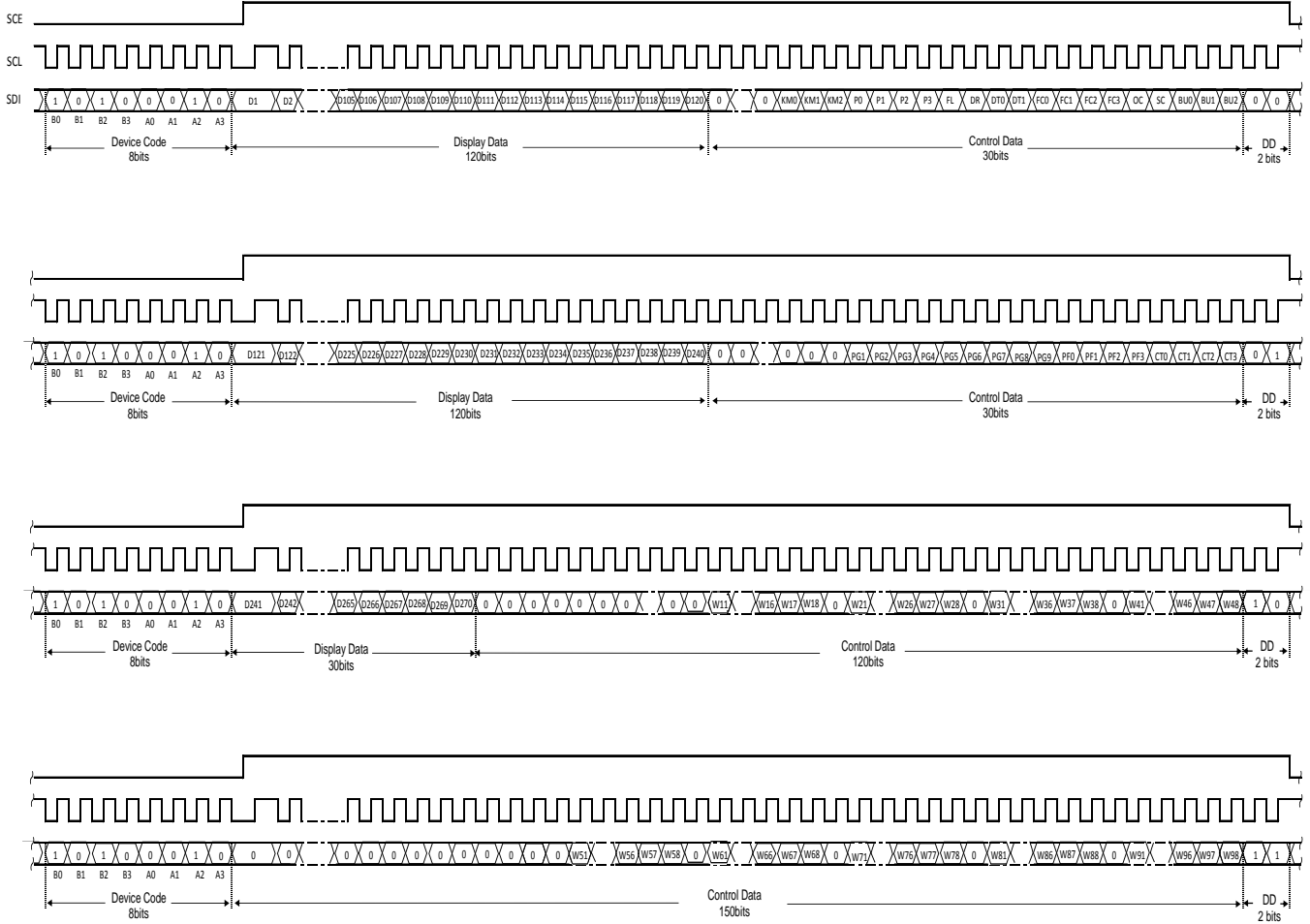


Figure 12. シリアルデータ入力

- デバイスコード “45H”
- KM0 ~ KM2 Key スキャン出力/セグメント出力切り替え制御データ
- D1 ~ D270 表示データ
- P0 ~ P3 セグメント/PWM/汎用出力端子切り替え制御データ
- FL ライン反転/フレーム反転切り替え制御データ
- DR 1/3 バイアス駆動/1/2 バイアス駆動切り替え制御データ
- DT0 ~ DT1 1/5 デューティ/1/4 デューティ/1/3 デューティ/Static 駆動切り替え制御データ
- FC0 ~ FC3 コモン/セグメント出力波形のフレーム周波数切り替え制御データ
- OC 内部発振モード/外部クロックモード切り替え制御データ
- SC セグメント点灯/消灯切り替え制御データ
- BU0 ~ BU2 ノーマルモード/パワーセーブモード切り替え制御データ
- PG1 ~ PG9 PWM/汎用出力切り替え制御データ
- PF0 ~ PF3 PWM 出力用フレーム周波数切り替え制御データ
- CT0 ~ CT3 LCD 表示コントラスト設定切り替え制御データ
- W11~W18, W21~W28, W31~W38, W41~W48, W51~W58, W61~W68, W71~W78, W81~W88, W91~W98 PWM 出力デューティ切り替え制御データ
- DD ディレクションデータ

BU97530KVT はデバイスコードが一致すれば、その後の SCE の立下りで表示データと制御データを取り込みます。そのため、表示データと制御データの bit 数は上図の規定数通りに転送してください。規定 bit 数は 160bit になります。(Device code: 8bit, Display data and Control data: 150bit, DD: 2bit)

シリアルデータ入力(続き)

4. Static 時

(1) SCLが「L」レベルで停止している場合

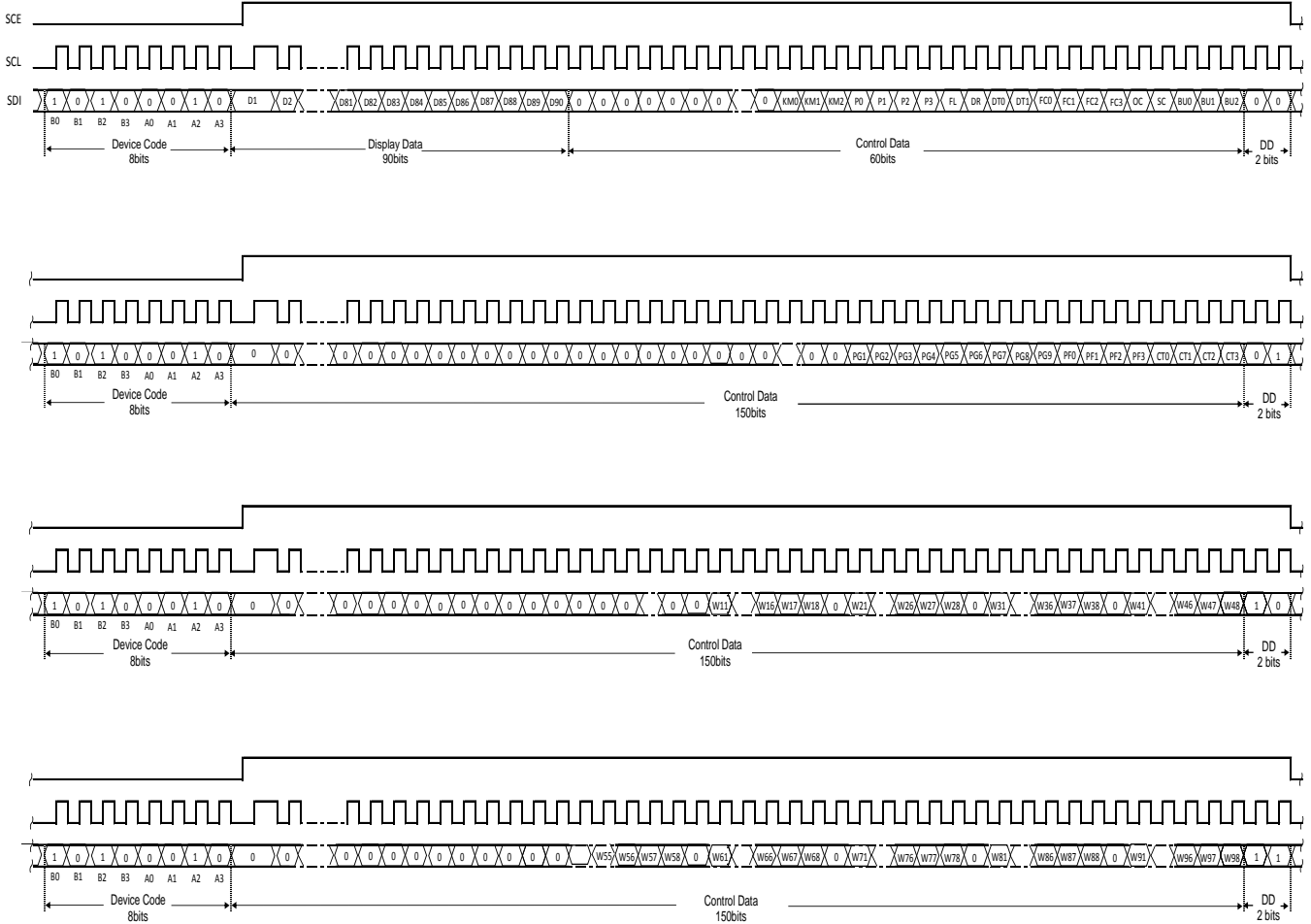


Figure 13. シリアルデータ入力

シリアルデータ入力(続き)

(2) SCLが「H」レベルで停止している場合

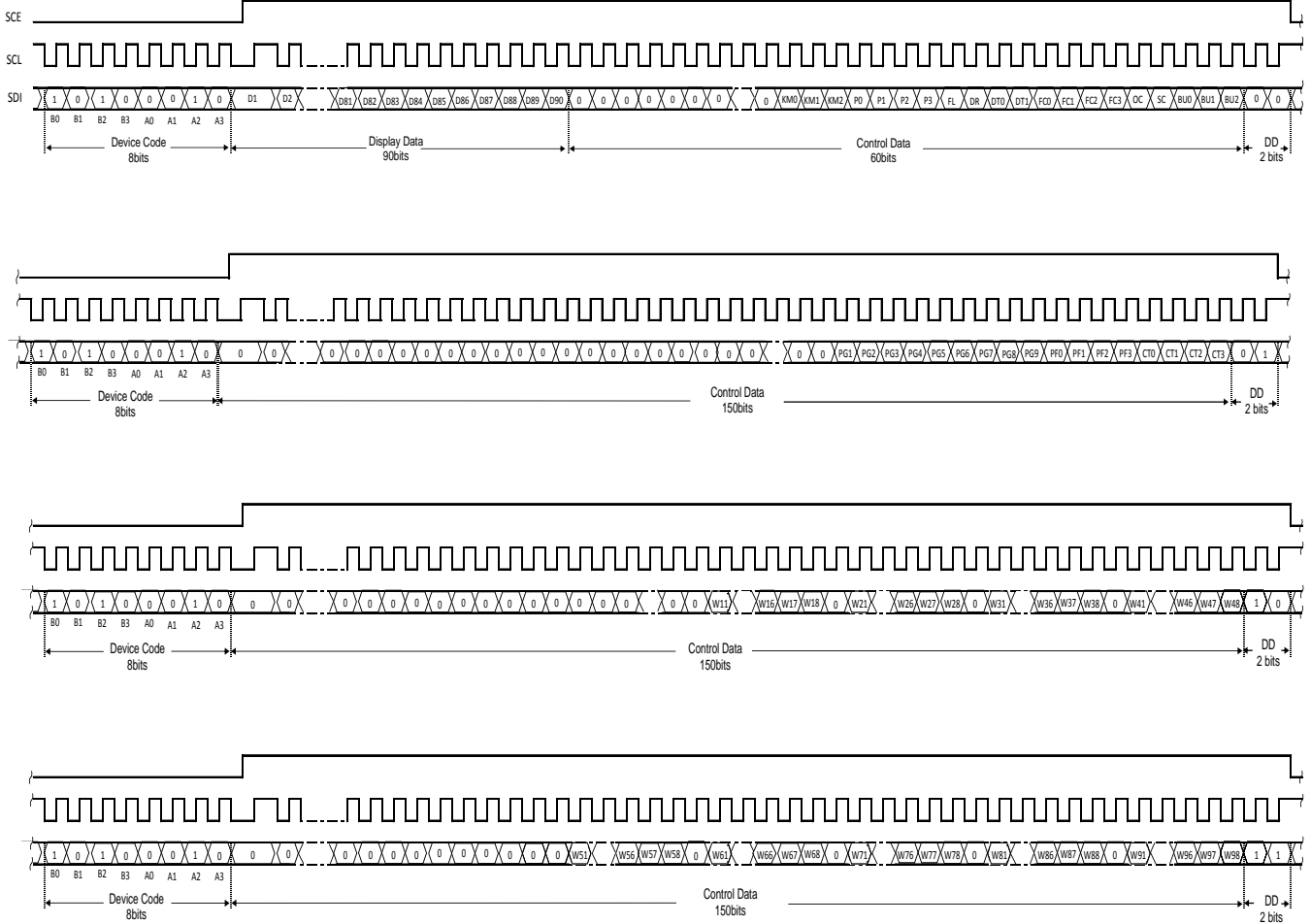


Figure 14. シリアルデータ入力

- デバイスコード “45H”
- KM0 ~ KM2 Key スキャン出力/セグメント出力切り替え制御データ
- D1 ~ D90 表示データ
- P0 ~ P3 セグメント/PWM/汎用出力端子切り替え制御データ
- FL ライン反転/フレーム反転切り替え制御データ
- DR 1/3 バイアス駆動/1/2 バイアス駆動切り替え制御データ
- DT0 ~ DT1 1/5 デューティ/1/4 デューティ/1/3 デューティ/Static 駆動切り替え制御データ
- FC0 ~ FC3 コモン/セグメント出力波形のフレーム周波数切り替え制御データ
- OC 内部発振モード/外部クロックモード切り替え制御データ
- SC セグメント点灯/消灯切り替え制御データ
- BU0 ~ BU2 ノーマルモード/パワーセーブモード切り替え制御データ
- PG1 ~ PG9 PWM/汎用出力切り替え制御データ
- PF0 ~ PF3 PWM 出力用フレーム周波数切り替え制御データ
- CT0 ~ CT3 LCD 表示コントラスト設定切り替え制御データ
- W11~W18, W21~W28, W31~W38, W41~W48, W51~W58, W61~W68, W71~W78, W81~W88, W91~W98 PWM 出力デューティ切り替え制御データ
- DD ディレクションデータ

BU97530KVT はデバイスコードが一致すれば、その後の SCE の立下りで表示データと制御データを取り込みます。そのため、表示データと制御データの bit 数は上図の規定数通りに転送してください。規定 bit 数は 160bit になります。(Device code: 8bit, Display data and Control data: 150bit, DD: 2bit)

制御データの詳細説明

1. KM0, KM1, KM2: Key スキャン出力/セグメント出力切替え制御データ

この制御データにより、KS1/S79 ~ KS6/S84 出力に対して Key スキャン出力/セグメント出力の切替えを行います。

KM0	KM1	KM2	Output Pin State						Key 入力の 最大数	リセット 状態
			KS1/S79	KS2/S80	KS3/S81	KS4/S82	KS5/S83	KS6/S84		
0	0	0	KS1	KS2	KS3	KS4	KS5	KS6	30	-
0	0	1	S79	KS2	KS3	KS4	KS5	KS6	25	-
0	1	0	S79	S80	KS3	KS4	KS5	KS6	20	-
0	1	1	S79	S80	S81	KS4	KS5	KS6	15	-
1	0	0	S79	S80	S81	S82	KS5	KS6	10	-
1	0	1	S79	S80	S81	S82	S83	KS6	5	-
1	1	0	S79	S80	S81	S82	S83	S84	0	-
1	1	1	S79	S80	S81	S82	S83	S84	0	○

2. P0, P1, P2, P3: セグメント/PWM/汎用出力端子切替え制御データ

この制御データにより、S1/P1/G1 ~ S9/P9/G9 出力端子の切替えを行います。(セグメント/PWM/汎用出力)

P0	P1	P2	P3	S1/P1/G1	S2/P2/G2	S3/P3/G3	S4/P4/G4	S5/P5/G5	S6/P6/G6	S7/P7/G7	S8/P8/G8	S9/P9/G9	リセット 状態
0	0	0	0	S1	S2	S3	S4	S5	S6	S7	S8	S9	○
0	0	0	1	P1/G1	S2	S3	S4	S5	S6	S7	S8	S9	-
0	0	1	0	P1/G1	P2/G2	S3	S4	S5	S6	S7	S8	S9	-
0	0	1	1	P1/G1	P2/G2	P3/G3	S4	S5	S6	S7	S8	S9	-
0	1	0	0	P1/G1	P2/G2	P3/G3	P4/G4	S5	S6	S7	S8	S9	-
0	1	0	1	P1/G1	P2/G2	P3/G3	P4/G4	P5/G5	S6	S7	S8	S9	-
0	1	1	0	P1/G1	P2/G2	P3/G3	P4/G4	P5/G5	P6/G6	S7	S8	S9	-
0	1	1	1	P1/G1	P2/G2	P3/G3	P4/G4	P5/G5	P6/G6	P7/G7	S8	S9	-
1	0	0	0	P1/G1	P2/G2	P3/G3	P4/G4	P5/G5	P6/G6	P7/G7	P8/G8	S9	-
1	0	0	1	P1/G1	P2/G2	P3/G3	P4/G4	P5/G5	P6/G6	P7/G7	P8/G8	P9/S9	-
1	0	1	0	S1	S2	S3	S4	S5	S6	S7	S8	S9	-
1	0	1	1	S1	S2	S3	S4	S5	S6	S7	S8	S9	-
1	1	0	0	S1	S2	S3	S4	S5	S6	S7	S8	S9	-
1	1	0	1	S1	S2	S3	S4	S5	S6	S7	S8	S9	-
1	1	1	0	S1	S2	S3	S4	S5	S6	S7	S8	S9	-
1	1	1	1	S1	S2	S3	S4	S5	S6	S7	S8	S9	-

PWM/汎用出力端子の切替えはPGx(x=1 ~ 9)制御データにて行います。

汎用出力端子を選択した場合の表示データと出力端子の関係は、以下のようになります。

出力端子	対応する表示データ			
	1/5 デューティ時	1/4 デューティ時	1/3 デューティ時	Static
S1/P1/G1	D1	D1	D1	D1
S2/P2/G2	D6	D5	D4	D2
S3/P3/G3	D11	D9	D7	D3
S4/P4/G4	D16	D13	D10	D4
S5/P5/G5	D21	D17	D13	D4
S6/P6/G6	D26	D21	D16	D5
S7/P7/G7	D31	D25	D19	D7
S8/P8/G8	D36	D29	D22	D8
S9/P9/G9	D41	D33	D25	D9

汎用出力端子が選択された場合、対応する表示データを1とすると出力端子は「H」レベルを出力し、0とすると「L」レベルを出力します。例えば、1/4 デューティの場合において、出力端子 S4/P4/G4 が汎用出力端子として選択されている場合、表示データ D13=「1」の時、出力端子 S4/P4/G4 は「H」(VDD)を出力し、D13=「0」の時、出力端子 S4/P4/G4 は「L」(VSS)を出力します。

3. FL: ライン反転/フレーム反転切替え制御データ

この制御データにより、ライン反転、フレーム反転の切替えを行います。

FL	反転設定	リセット状態
0	ライン反転	○
1	フレーム反転	-

一般的に、液晶の容量が大きい場合には、ライン反転の方がクロストークの影響が大きくなります。

駆動波形については、[液晶駆動波形](#)を参照ください。

制御データの詳細説明(続き)

4. DR: 1/3 バイアス駆動/1/2 バイアス駆動切替え制御データ

この制御データにより、1/3 バイアス駆動、1/2 バイアス駆動の切替えを行います。

DR	バイアス設定	リセット状態
0	1/3 バイアス駆動方式	○
1	1/2 バイアス駆動方式	-

5. DT: 1/5 デューティ/1/4 デューティ/1/3 デューティ/Static 駆動切替え制御データ

この制御データにより、1/5デューティ駆動、1/4デューティ駆動、1/3デューティ駆動、Static駆動の切替えを行います。

DT0	DT1	デューティ設定	リセット状態
0	0	Static 駆動方式	○
0	1	1/3 デューティ駆動方式	-
1	0	1/4 デューティ駆動方式	-
1	1	1/5 デューティ駆動方式	-

6. FC0, FC1, FC2, FC3: コモン/セグメント出力波形のフレーム周波数切替え制御データ

この制御データにより、表示フレーム周波数設定を行います。

FC0	FC1	FC2	FC3	表示フレーム周波数 fo(Hz)	リセット状態
0	0	0	0	$f_{osc}^{(Note)} / 12288$	○
0	0	0	1	$f_{osc} / 10752$	-
0	0	1	0	$f_{osc} / 9216$	-
0	0	1	1	$f_{osc} / 7680$	-
0	1	0	0	$f_{osc} / 6144$	-
0	1	0	1	$f_{osc} / 4608$	-
0	1	1	0	$f_{osc} / 3840$	-
0	1	1	1	$f_{osc} / 3072$	-
1	0	0	0	$f_{osc} / 2880$	-
1	0	0	1	$f_{osc} / 2688$	-
1	0	1	0	$f_{osc} / 2496$	-
1	0	1	1	$f_{osc} / 2304$	-
1	1	0	0	$f_{osc} / 2112$	-
1	1	0	1	$f_{osc} / 1920$	-
1	1	1	0	$f_{osc} / 1728$	-
1	1	1	1	$f_{osc} / 1536$	-

(Note) f_{osc} : 内部発振周波数 (600 kHz Typ)

7. OC: 内部発振モード/外部クロックモード切替え制御データ

この制御データにより、発振モードの切替えを行います。

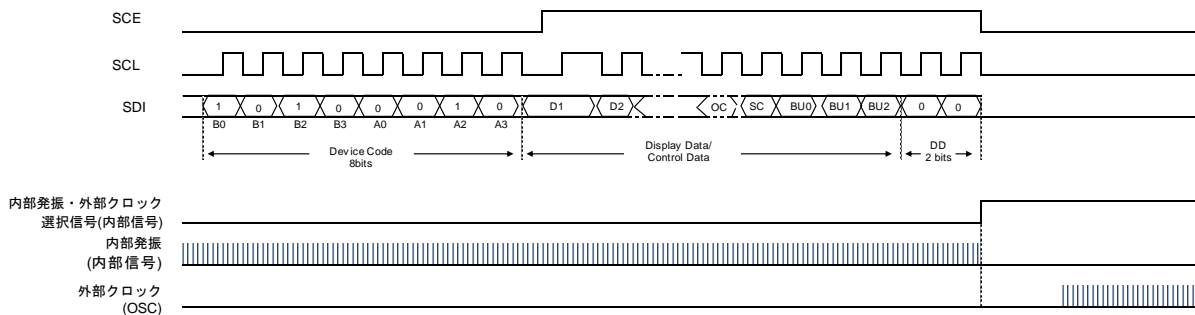
OC	動作モード	OSC/S90端子状態	リセット状態
0	内部発振	S90 (セグメント出力)	○
1	外部クロック	OSC (クロック入力)	-

OC=1: 外部クロック設定後、OSC/S90 端子はクロック入力端子となります。

<外部クロック入力時の注意事項>

内部発振、外部クロック選択信号は下記のように動作します。

外部クロックは下記のようにコマンド送信後に入力してください。



8. SC: セグメント点灯/消灯切替え制御データ

この制御データにより、セグメントの点灯、消灯の制御を行います。

SC	状態	リセット状態
0	On	-
1	Off	○

ただし、SC=「1」による消灯とは、セグメント出力端子から消灯波形が出力されることによる消灯です。

制御データの詳細説明(続き)

9. BU0、BU1、BU2: ノーマルモード/パワーセーブモード切替え制御データ

この制御データにより、ノーマルモード、パワーセーブモードの切替えを行います。

BU0	BU1	BU2	状態	OSC 発振器	セグメント出力 コモン出力	Key スキャンがスタンバイ中の出力状態						リセット状態
						KS1	KS2	KS3	KS4	KS5	KS6	
0	0	0	ノーマル	動作	動作	H	H	H	H	H	H	-
0	0	1	パワーセーブモード	停止	Low (VSS)	L	L	L	L	L	H	-
0	1	0				L	L	L	L	H	H	-
0	1	1				L	L	L	H	H	H	-
1	0	0				L	L	H	H	H	H	-
1	0	1				L	H	H	H	H	H	-
1	1	0				H	H	H	H	H	H	-
1	1	1				H	H	H	H	H	H	○

パワーセーブモード状態: S1/P1/G1 ~ S9/P9/G9 = 汎用出力としてのみ動作可能

S10 ~ OSC/S90 = low(VSS)

COM1 ~ COM5 = low(VSS)

LCD バイアス電圧生成回路停止

発振回路停止

ただし、シリアルデータを転送することは可能です。

10. PG1、PG2、PG3、PG4、PG5、PG6、PG7、PG8、PG9: PWM/汎用出力切替え制御データ

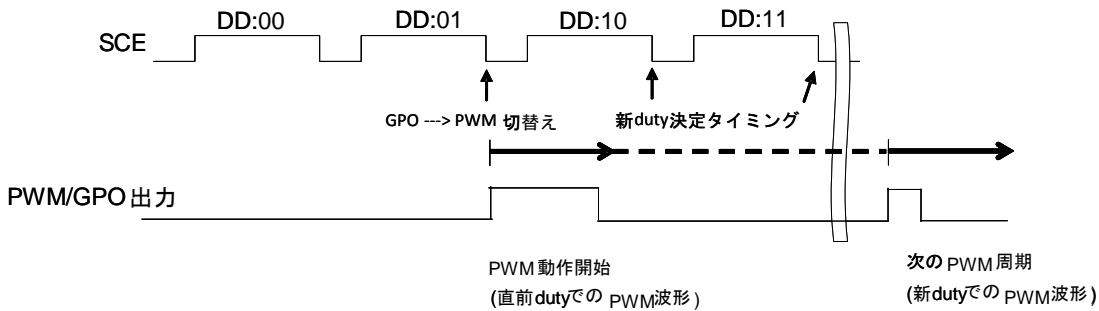
この制御データにより、Sx/Px/Gx(x = 1 ~ 9)出力を PWM 出力か汎用出力として使用するか選択します。

PGx(x=1 ~ 9)	状態	リセット状態
0	PWM出力	○
1	汎用出力	-

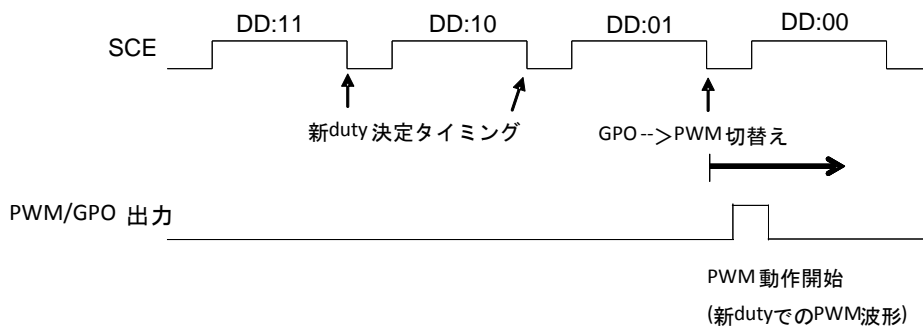
<PWM<->GPO 切替え時の注意事項>

基本的な GPO→PWM 切替え動作は次のようになります。

- ・ GPO→PWM 切替え時には、DD:01 のコマンド群取り込みタイミングで PWM 動作が開始されます。
- ・ DD:10、DD:11 の新デューティ設定の反映タイミングは次の PWM 周期からとなりますのでご注意ください。



この動作を回避するためには、コマンド入力順を下記のように反対に入力してください。



制御データの詳細説明(続き)

11. PF0、PF1、PF2、PF3: PWM 出力用フレーム周波数切替え制御データ

この制御データにより、PWM 出力のフレーム周波数設定を行います。

PF0	PF1	PF2	PF3	PWM 出力のフレーム周波数 fp(Hz)	リセット状態
0	0	0	0	fosc/4096	○
0	0	0	1	fosc/3840	-
0	0	1	0	fosc/3584	-
0	0	1	1	fosc/3328	-
0	1	0	0	fosc/3072	-
0	1	0	1	fosc/2816	-
0	1	1	0	fosc/2560	-
0	1	1	1	fosc/2304	-
1	0	0	0	fosc/2048	-
1	0	0	1	fosc/1792	-
1	0	1	0	fosc/1536	-
1	0	1	1	fosc/1280	-
1	1	0	0	fosc/1024	-
1	1	0	1	fosc/768	-
1	1	1	0	fosc/512	-
1	1	1	1	fosc/256	-

12. CT0、CT1、CT2、CT3: LCD 表示コントラスト設定切替え制御データ

この制御データにより、LCD 表示コントラスト設定を行います。

CT0	CT1	CT2	CT3	VLCD 用液晶駆動バイアス電圧	リセット状態
0	0	0	0	1.000*VDD	○
0	0	0	1	0.975*VDD(Notes)	-
0	0	1	0	0.950*VDD(Notes)	-
0	0	1	1	0.925*VDD(Notes)	-
0	1	0	0	0.900*VDD	-
0	1	0	1	0.875*VDD	-
0	1	1	0	0.850*VDD	-
0	1	1	1	0.825*VDD	-
1	0	0	0	0.800*VDD	-
1	0	0	1	0.775*VDD	-
1	0	1	0	0.750*VDD	-
1	0	1	1	0.725*VDD	-
1	1	0	0	0.700*VDD	-
1	1	0	1	0.675*VDD	-
1	1	1	0	0.650*VDD	-
1	1	1	1	0.625*VDD	-

本設定で液晶駆動電圧の最高電位 VLCD 電圧の設定を行います。

(Note) [CT0,CT1,CT2,CT3] = [0,0,0,1], [0,0,1,0], [0,0,1,1]の設定は禁止となります。

VLCD 電圧が 2.5V 未満となる LCD 表示コントラスト設定は禁止とします。

また本機能を使用する際は VDD - VLCD > 0.6V の条件を満足するようにしてください。

上記条件を満足できない場合 IC の出力が不安定になる可能性があります。

LCD 表示コントラスト設定電圧表

CT 設定	計算式	VDD= 6.000	VDD= 5.500	VDD= 5.000	VDD= 4.500	VDD= 4.000	VDD= 3.000	単位
0	VDD	VLCD= 6.000	VLCD= 5.500	VLCD= 5.000	VLCD= 4.500	VLCD= 4.000	VLCD= 3.000	V
1	0.975*VDD	VLCD= 5.850	VLCD= 5.363	VLCD= 4.875	VLCD= 4.388	VLCD= 3.900	VLCD= 2.925	V
2	0.950*VDD	VLCD= 5.700	VLCD= 5.225	VLCD= 4.750	VLCD= 4.275	VLCD= 3.800	VLCD= 2.850	V
3	0.925*VDD	VLCD= 5.550	VLCD= 5.088	VLCD= 4.625	VLCD= 4.163	VLCD= 3.700	VLCD= 2.775	V
4	0.900*VDD	VLCD= 5.400	VLCD= 4.950	VLCD= 4.500	VLCD= 4.050	VLCD= 3.600	VLCD= 2.700	V
5	0.875*VDD	VLCD= 5.250	VLCD= 4.813	VLCD= 4.375	VLCD= 3.938	VLCD= 3.500	VLCD= 2.625	V
6	0.850*VDD	VLCD= 5.100	VLCD= 4.675	VLCD= 4.250	VLCD= 3.825	VLCD= 3.400	VLCD= 2.550	V
7	0.825*VDD	VLCD= 4.950	VLCD= 4.538	VLCD= 4.125	VLCD= 3.713	VLCD= 3.300	VLCD= 2.475	V
8	0.800*VDD	VLCD= 4.800	VLCD= 4.400	VLCD= 4.000	VLCD= 3.600	VLCD= 3.200	VLCD= 2.400	V
9	0.775*VDD	VLCD= 4.650	VLCD= 4.263	VLCD= 3.875	VLCD= 3.488	VLCD= 3.100	VLCD= 2.325	V
10	0.750*VDD	VLCD= 4.500	VLCD= 4.125	VLCD= 3.750	VLCD= 3.375	VLCD= 3.000	VLCD= 2.250	V
11	0.725*VDD	VLCD= 4.350	VLCD= 3.988	VLCD= 3.625	VLCD= 3.263	VLCD= 2.900	VLCD= 2.175	V
12	0.700*VDD	VLCD= 4.200	VLCD= 3.850	VLCD= 3.500	VLCD= 3.150	VLCD= 2.800	VLCD= 2.100	V
13	0.675*VDD	VLCD= 4.050	VLCD= 3.713	VLCD= 3.375	VLCD= 3.038	VLCD= 2.700	VLCD= 2.025	V
14	0.650*VDD	VLCD= 3.900	VLCD= 3.575	VLCD= 3.250	VLCD= 2.925	VLCD= 2.600	VLCD= 1.950	V
15	0.625*VDD	VLCD= 3.750	VLCD= 3.438	VLCD= 3.125	VLCD= 2.813	VLCD= 2.500	VLCD= 1.875	V

設定禁止

制御データの詳細説明(続き)

13. W11~W18^(Note)、W21~W28、W31~W38、W41~W48、W51~W58、W61~W68、W71~W78、W81~W88、W91~W98: PWM 出力デューティ切替え制御データ

この制御データにより、PWM 出力の"H"パルス幅を設定します。N = 1 ~ 9, Tp = 1/fp

Wn1	Wn2	Wn3	Wn4	Wn5	Wn6	Wn7	Wn8	PWM duty	リセット状態
0	0	0	0	0	0	0	0	(0/256) x Tp	○
0	0	0	0	0	0	0	1	(1/256) x Tp	-
0	0	0	0	0	0	1	0	(2/256) x Tp	-
0	0	0	0	0	0	1	1	(3/256) x Tp	-
0	0	0	0	0	1	0	0	(4/256) x Tp	-
0	0	0	0	0	1	0	1	(5/256) x Tp	-
0	0	0	0	0	1	1	0	(6/256) x Tp	-
0	0	0	0	0	1	1	1	(7/256) x Tp	-
0	0	0	0	1	0	0	0	(8/256) x Tp	-
0	0	0	0	1	0	0	1	(9/256) x Tp	-
0	0	0	0	1	0	1	0	(10/256) x Tp	-
0	0	0	0	1	0	1	1	(11/256) x Tp	-
0	0	0	0	1	1	0	0	(12/256) x Tp	-
0	0	0	0	1	1	0	1	(13/256) x Tp	-
0	0	0	0	1	1	1	0	(14/256) x Tp	-
0	0	0	0	1	1	1	1	(15/256) x Tp	-
0	0	0	1	0	0	0	0	(16/256) x Tp	-
0	0	0	1	0	0	0	1	(17/256) x Tp	-
0	0	0	1	0	0	1	0	(18/256) x Tp	-
0	0	0	1	0	0	1	1	(19/256) x Tp	-
0	0	0	1	0	1	0	0	(20/256) x Tp	-
...	-
1	1	1	0	1	0	1	1	(235/256) x Tp	-
1	1	1	0	1	1	0	0	(236/256) x Tp	-
1	1	1	0	1	1	0	1	(237/256) x Tp	-
1	1	1	0	1	1	1	0	(238/256) x Tp	-
1	1	1	0	1	1	1	1	(239/256) x Tp	-
1	1	1	1	0	0	0	0	(240/256) x Tp	-
1	1	1	1	0	0	0	1	(241/256) x Tp	-
1	1	1	1	0	0	1	0	(242/256) x Tp	-
1	1	1	1	0	0	1	1	(243/256) x Tp	-
1	1	1	1	0	1	0	0	(244/256) x Tp	-
1	1	1	1	0	1	0	1	(245/256) x Tp	-
1	1	1	1	0	1	1	0	(246/256) x Tp	-
1	1	1	1	0	1	1	1	(247/256) x Tp	-
1	1	1	1	1	0	0	0	(248/256) x Tp	-
1	1	1	1	1	0	0	1	(249/256) x Tp	-
1	1	1	1	1	0	1	0	(250/256) x Tp	-
1	1	1	1	1	0	1	1	(251/256) x Tp	-
1	1	1	1	1	1	0	0	(252/256) x Tp	-
1	1	1	1	1	1	0	1	(253/256) x Tp	-
1	1	1	1	1	1	1	0	(254/256) x Tp	-
1	1	1	1	1	1	1	1	(255/256) x Tp	-

(Note) W11 ~ W18:S1/P1/G1 PWM デューティ データ
W21 ~ W28:S2/P2/G2 PWM デューティ データ
W31 ~ W38:S3/P3/G3 PWM デューティ データ
W41 ~ W48:S4/P4/G4 PWM デューティ データ
W51 ~ W58:S5/P5/G5 PWM デューティ データ
W61 ~ W68:S6/P6/G6 PWM デューティ データ
W71 ~ W78:S7/P7/G7 PWM デューティ データ
W81 ~ W88:S8/P8/G8 PWM デューティ データ
W91 ~ W98:S9/P9/G9 PWM デューティ データ

表示データと出力端子の対応

1. 1/5 デューティ時

出力端子 ^(Note)	COM1	COM2	COM3	COM4	COM5
S1/P1/G1	D1	D2	D3	D4	D5
S2/P2/G2	D6	D7	D8	D9	D10
S3/P3/G3	D11	D12	D13	D14	D15
S4/P4/G4	D16	D17	D18	D19	D20
S5/P5/G5	D21	D22	D23	D24	D25
S6/P6/G6	D26	D27	D28	D29	D30
S7/P7/G7	D31	D32	D33	D34	D35
S8/P8/G8	D36	D37	D38	D39	D40
S9/P9/G9	D41	D42	D43	D44	D45
S10	D46	D47	D48	D49	D50
S11	D51	D52	D53	D54	D55
S12	D56	D57	D58	D59	D60
S13	D61	D62	D63	D64	D65
S14	D66	D67	D68	D69	D70
S15	D71	D72	D73	D74	D75
S16	D76	D77	D78	D79	D80
S17	D81	D82	D83	D84	D85
S18	D86	D87	D88	D89	D90
S19	D91	D92	D93	D94	D95
S20	D96	D97	D98	D99	D100
S21	D101	D102	D103	D104	D105
S22	D106	D107	D108	D109	D110
S23	D111	D112	D113	D114	D115
S24	D116	D117	D118	D119	D120
S25	D121	D122	D123	D124	D125
S26	D126	D127	D128	D129	D130
S27	D131	D132	D133	D134	D135
S28	D136	D137	D138	D139	D140
S29	D141	D142	D143	D144	D145
S30	D146	D147	D148	D149	D150
S31	D151	D152	D153	D154	D155
S32	D156	D157	D158	D159	D160
S33	D161	D162	D163	D164	D165
S34	D166	D167	D168	D169	D170
S35	D171	D172	D173	D174	D175
S36	D176	D177	D178	D179	D180
S37	D181	D182	D183	D184	D185
S38	D186	D187	D188	D189	D190
S39	D191	D192	D193	D194	D195
S40	D196	D197	D198	D199	D200
S41	D201	D202	D203	D204	D205
S42	D206	D207	D208	D209	D210
S43	D211	D212	D213	D214	D215
S44	D216	D217	D218	D219	D220
S45	D221	D222	D223	D224	D225
S46	D226	D227	D228	D229	D230
S47	D231	D232	D233	D234	D235
S48	D236	D237	D238	D239	D240
S49	D241	D242	D243	D244	D245
S50	D246	D247	D248	D249	D250
S51	D251	D252	D253	D254	D255
S52	D256	D257	D258	D259	D260
S53	D261	D262	D263	D264	D265
S54	D266	D267	D268	D269	D270
S55	D271	D272	D273	D274	D275
S56	D276	D277	D278	D279	D280
S57	D281	D282	D283	D284	D285
S58	D286	D287	D288	D289	D290
S59	D291	D292	D293	D294	D295
S60	D296	D297	D298	D299	D300
S61	D301	D302	D303	D304	D305
S62	D306	D307	D308	D309	D310
S63	D311	D312	D313	D314	D315

(Note) 出力端子 S1/P1/G1 ~ S9/P9/G9、KS1/S79 ~ KS6/S84、K11/S85 ~ K15/S89、OSC/S90 はセグメント出力、COM5/S78 は共通出力が選択されている場合です。

表示データと出力端子の対応(続き)

出力端子 ^(Note)	COM1	COM2	COM3	COM4	COM5
S64	D316	D317	D318	D319	D320
S65	D321	D322	D323	D324	D325
S66	D326	D327	D328	D329	D330
S67	D331	D332	D333	D334	D335
S68	D336	D337	D338	D339	D340
S69	D341	D342	D343	D344	D345
S70	D346	D347	D348	D349	D350
S71	D351	D352	D353	D354	D355
S72	D356	D357	D358	D359	D360
S73	D361	D362	D363	D364	D365
S74	D366	D367	D368	D369	D370
S75	D371	D372	D373	D374	D375
S76	D376	D377	D378	D379	D380
S77	D381	D382	D383	D384	D385
KS1/S79	D386	D387	D388	D389	D390
KS2/S80	D391	D392	D393	D394	D395
KS3/S81	D396	D397	D398	D399	D400
KS4/S82	D401	D402	D403	D404	D405
KS5/S83	D406	D407	D408	D409	D410
KS6/S84	D411	D412	D413	D414	D415
KI1/S85	D416	D417	D418	D419	D420
KI2/S86	D421	D422	D423	D424	D425
KI3/S87	D426	D427	D428	D429	D430
KI4/S88	D431	D432	D433	D434	D435
KI5/S89	D436	D437	D438	D439	D440
OSC/S90	D441	D442	D443	D444	D445

(Note) 出力端子 S1/P1/G1 ~ S9/P9/G9、KS1/S79 ~ KS6/S84、KI1/S85 ~ KI5/S89、OSC/S90 はセグメント出力、COM5/S78 はCOMMON出力が選択されている場合です。

例えば、出力端子 S21 の場合、以下ようになります。

表示データ					出力端子(S21)の状態
D101	D102	D103	D104	D105	
0	0	0	0	0	COM1、2、3、4、5 に対する LCD セグメントが消灯
0	0	0	0	1	COM5 に対する LCD セグメントが点灯
0	0	0	1	0	COM4 に対する LCD セグメントが点灯
0	0	0	1	1	COM4、5 に対する LCD セグメントが点灯
0	0	1	0	0	COM3 に対する LCD セグメントが点灯
0	0	1	0	1	COM3、5 に対する LCD セグメントが点灯
0	0	1	1	0	COM3、4 に対する LCD セグメントが点灯
0	0	1	1	1	COM3、4、5 に対する LCD セグメントが点灯
0	1	0	0	0	COM2 に対する LCD セグメントが点灯
0	1	0	0	1	COM2、5 に対する LCD セグメントが点灯
0	1	0	1	0	COM2、4 に対する LCD セグメントが点灯
0	1	0	1	1	COM2、4、5 に対する LCD セグメントが点灯
0	1	1	0	0	COM2、3 に対する LCD セグメントが点灯
0	1	1	0	1	COM2、3、5 に対する LCD セグメントが点灯
0	1	1	1	0	COM2、3、4 に対する LCD セグメントが点灯
0	1	1	1	1	COM2、3、4、5 に対する LCD セグメントが点灯
1	0	0	0	0	COM1 に対する LCD セグメントが点灯
1	0	0	0	1	COM1、5 に対する LCD セグメントが点灯
1	0	0	1	0	COM1、4 に対する LCD セグメントが点灯
1	0	0	1	1	COM1、4、5 に対する LCD セグメントが点灯
1	0	1	0	0	COM1、3 に対する LCD セグメントが点灯
1	0	1	0	1	COM1、3、5 に対する LCD セグメントが点灯
1	0	1	1	0	COM1、3、4 に対する LCD セグメントが点灯
1	0	1	1	1	COM1、3、4、5 に対する LCD セグメントが点灯
1	1	0	0	0	COM1、2 に対する LCD セグメントが点灯
1	1	0	0	1	COM1、2、5 に対する LCD セグメントが点灯
1	1	0	1	0	COM1、2、4 に対する LCD セグメントが点灯
1	1	0	1	1	COM1、2、4、5 に対する LCD セグメントが点灯
1	1	1	0	0	COM1、2、3 に対する LCD セグメントが点灯
1	1	1	0	1	COM1、2、3、5 に対する LCD セグメントが点灯
1	1	1	1	0	COM1、2、3、4 に対する LCD セグメントが点灯
1	1	1	1	1	COM1、2、3、4、5 に対する LCD セグメントが点灯

表示データと出力端子の対応(続き)

2. 1/4 デューティ時

出力端子 ^(Note)	COM1	COM2	COM3	COM4
S1/P1/G1	D1	D2	D3	D4
S2/P2/G2	D5	D6	D7	D8
S3/P3/G3	D9	D10	D11	D12
S4/P4/G4	D13	D14	D15	D16
S5/P5/G5	D17	D18	D19	D20
S6/P6/G6	D21	D22	D23	D24
S7/P7/G7	D25	D26	D27	D28
S8/P8/G8	D29	D30	D31	D32
S9/P9/G9	D33	D34	D35	D36
S10	D37	D38	D39	D40
S11	D41	D42	D43	D44
S12	D45	D46	D47	D48
S13	D49	D50	D51	D52
S14	D53	D54	D55	D56
S15	D57	D58	D59	D60
S16	D61	D62	D63	D64
S17	D65	D66	D67	D68
S18	D69	D70	D71	D72
S19	D73	D74	D75	D76
S20	D77	D78	D79	D80
S21	D81	D82	D83	D84
S22	D85	D86	D87	D88
S23	D89	D90	D91	D92
S24	D93	D94	D95	D96
S25	D97	D98	D99	D100
S26	D101	D102	D103	D104
S27	D105	D106	D107	D108
S28	D109	D110	D111	D112
S29	D113	D114	D115	D116
S30	D117	D118	D119	D120
S31	D121	D122	D123	D124
S32	D125	D126	D127	D128
S33	D129	D130	D131	D132
S34	D133	D134	D135	D136
S35	D137	D138	D139	D140
S36	D141	D142	D143	D144
S37	D145	D146	D147	D148
S38	D149	D150	D151	D152
S39	D153	D154	D155	D156
S40	D157	D158	D159	D160
S41	D161	D162	D163	D164
S42	D165	D166	D167	D168
S43	D169	D170	D171	D172
S44	D173	D174	D175	D176
S45	D177	D178	D179	D180
S46	D181	D182	D183	D184
S47	D185	D186	D187	D188
S48	D189	D190	D191	D192
S49	D193	D194	D195	D196
S50	D197	D198	D199	D200
S51	D201	D202	D203	D204
S52	D205	D206	D207	D208
S53	D209	D210	D211	D212
S54	D213	D214	D215	D216
S55	D217	D218	D219	D220
S56	D221	D222	D223	D224
S57	D225	D226	D227	D228
S58	D229	D230	D231	D232
S59	D233	D234	D235	D236
S60	D237	D238	D239	D240
S61	D241	D242	D243	D244
S62	D245	D246	D247	D248
S63	D249	D250	D251	D252

(Note) 出力端子 S1/P1/G1 ~ S9/P9/G9、COM5/S78、KS1/S79 ~ KS6/S84、K11/S85 ~ K15/S89、OSC/S90 はセグメント出力が選択されている場合です。

表示データと出力端子の対応(続き)

出力端子 (Note)	COM1	COM2	COM3	COM4
S64	D253	D254	D255	D256
S65	D257	D258	D259	D260
S66	D261	D262	D263	D264
S67	D265	D266	D267	D268
S68	D269	D270	D271	D272
S69	D273	D274	D275	D276
S70	D277	D278	D279	D280
S71	D281	D282	D283	D284
S72	D285	D286	D287	D288
S73	D289	D290	D291	D292
S74	D293	D294	D295	D296
S75	D297	D298	D299	D300
S76	D301	D302	D303	D304
S77	D305	D306	D307	D308
COM5/S78	D309	D310	D311	D312
KS1/S79	D313	D314	D315	D316
KS2/S80	D317	D318	D319	D320
KS3/S81	D321	D322	D323	D324
KS4/S82	D325	D326	D327	D328
KS5/S83	D329	D330	D331	D332
KS6/S84	D333	D334	D335	D336
KI1/S85	D337	D338	D339	D340
KI2/S86	D341	D342	D343	D344
KI3/S87	D345	D346	D347	D348
KI4/S88	D349	D350	D351	D352
KI5/S89	D353	D354	D355	D356
OSC/S90	D357	D358	D359	D360

(Note) 出力端子 S1/P1/G1 ~ S9/P9/G9、COM5/S78、KS1/S79 ~ KS6/S84、KI1/S85 ~ KI5/S89、OSC/S90 はセグメント出力が選択されている場合です。

例えば、出力端子 S21 の場合、以下のようになります。

表示データ				出力端子(S21)の状態
D81	D82	D83	D84	
0	0	0	0	COM1、2、3、4 に対する LCD セグメントが消灯
0	0	0	1	COM4 に対する LCD セグメントが点灯
0	0	1	0	COM3 に対する LCD セグメントが点灯
0	0	1	1	COM3、4 に対する LCD セグメントが点灯
0	1	0	0	COM2 に対する LCD セグメントが点灯
0	1	0	1	COM2、4 に対する LCD セグメントが点灯
0	1	1	0	COM2、3 に対する LCD セグメントが点灯
0	1	1	1	COM2、3、4 に対する LCD セグメントが点灯
1	0	0	0	COM1 に対する LCD セグメントが点灯
1	0	0	1	COM1、4 に対する LCD セグメントが点灯
1	0	1	0	COM1、3 に対する LCD セグメントが点灯
1	0	1	1	COM1、3、4 に対する LCD セグメントが点灯
1	1	0	0	COM1、2 に対する LCD セグメントが点灯
1	1	0	1	COM1、2、4 に対する LCD セグメントが点灯
1	1	1	0	COM1、2、3 に対する LCD セグメントが点灯
1	1	1	1	COM1、2、3、4 に対する LCD セグメントが点灯

表示データと出力端子の対応(続き)

3. 1/3 デューティ時

出力端子 ^(Note)	COM1	COM2	COM3
S1/P1/G1	D1	D2	D3
S2/P2/G2	D4	D5	D6
S3/P3/G3	D7	D8	D9
S4/P4/G4	D10	D11	D12
S5/P5/G5	D13	D14	D15
S6/P6/G6	D16	D17	D18
S7/P7/G7	D19	D20	D21
S8/P8/G8	D22	D23	D24
S9/P9/G9	D25	D26	D27
S10	D28	D29	D30
S11	D31	D32	D33
S12	D34	D35	D36
S13	D37	D38	D39
S14	D40	D41	D42
S15	D43	D44	D45
S16	D46	D47	D48
S17	D49	D50	D51
S18	D52	D53	D54
S19	D55	D56	D57
S20	D58	D59	D60
S21	D61	D62	D63
S22	D64	D65	D66
S23	D67	D68	D69
S24	D70	D71	D72
S25	D73	D74	D75
S26	D76	D77	D78
S27	D79	D80	D81
S28	D82	D83	D84
S29	D85	D85	D87
S30	D88	D89	D90
S31	D91	D92	D93
S32	D94	D95	D96
S33	D97	D98	D99
S34	D100	D101	D102
S35	D103	D104	D105
S36	D106	D107	D108
S37	D109	D110	D111
S38	D112	D113	D114
S39	D115	D116	D117
S40	D118	D119	D120
S41	D121	D122	D123
S42	D124	D125	D126
S43	D127	D128	D129
S44	D130	D131	D132
S45	D133	D134	D135
S46	D136	D137	D138
S47	D139	D140	D141
S48	D142	D143	D144
S49	D145	D146	D147
S50	D148	D149	D150
S51	D151	D152	D153
S52	D154	D155	D156
S53	D157	D158	D159
S54	D160	D161	D162
S55	D163	D164	D165
S56	D166	D167	D168
S57	D169	D170	D171
S58	D172	D173	D174
S59	D175	D176	D177
S60	D178	D179	D180
S61	D181	D182	D183
S62	D184	D185	D186
S63	D187	D188	D189

(Note) 出力端子 S1/P1/G1 ~ S9/P9/G9、COM5/S78、KS1/S79 ~ KS6/S84、KI1/S85 ~ KI5/S89、OSC/S90 はセグメント出力が選択されている場合です。

表示データと出力端子の対応(続き)

出力端子 <small>(Note)</small>	COM1	COM2	COM3
S64	D190	D191	D192
S65	D193	D194	D195
S66	D196	D197	D198
S67	D199	D200	D201
S68	D202	D203	D204
S69	D205	D206	D207
S70	D208	D209	D210
S71	D211	D212	D213
S72	D214	D215	D216
S73	D217	D218	D219
S74	D220	D221	D222
S75	D223	D224	D225
S76	D226	D227	D228
S77	D229	D230	D231
COM5/S78	D232	D233	D234
KS1/S79	D235	D236	D237
KS2/S80	D238	D239	D240
KS3/S81	D241	D242	D243
KS4/S82	D244	D245	D246
KS5/S83	D247	D248	D249
KS6/S84	D250	D251	D252
KI1/S85	D253	D254	D255
KI2/S86	D256	D257	D258
KI3/S87	D259	D260	D261
KI4/S88	D262	D263	D264
KI5/S89	D265	D266	D267
OSC/S90	D268	D269	D270

(Note) 出力端子 S1/P1/G1 ~ S9/P9/G9、COM5/S78、KS1/S79 ~ KS6/S84、KI1/S85 ~ KI5/S89、OSC/S90 はセグメント出力が選択されている場合です。

例えば、出力端子 S21 の場合、以下のようになります。

表示データ			出力端子(S21)の状態
D61	D62	D63	
0	0	0	COM1、2、3に対するLCDセグメントが消灯
0	0	1	COM3に対するLCDセグメントが点灯
0	1	0	COM2に対するLCDセグメントが点灯
0	1	1	COM2、3に対するLCDセグメントが点灯
1	0	0	COM1 に対する LCD セグメントが点灯
1	0	1	COM1、3 に対する LCD セグメントが点灯
1	1	0	COM1、2 に対する LCD セグメントが点灯
1	1	1	COM1、2、3 に対する LCD セグメントが点灯

表示データと出力端子の対応(続き)

4. Static 時

出力端子 ^(Note)	COM1
S1/P1/G1	D1
S2/P2/G2	D2
S3/P3/G3	D3
S4/P4/G4	D4
S5/P5/G5	D5
S6/P6/G6	D6
S7/P7/G7	D7
S8/P8/G8	D8
S9/P9/G9	D9
S10	D10
S11	D11
S12	D12
S13	D13
S14	D14
S15	D15
S16	D16
S17	D17
S18	D18
S19	D19
S20	D20
S21	D21
S22	D22
S23	D23
S24	D24
S25	D25
S26	D26
S27	D27
S28	D28
S29	D29
S30	D30
S31	D31
S32	D32
S33	D33
S34	D34
S35	D35
S36	D36
S37	D37
S38	D38
S39	D39
S40	D40
S41	D41
S42	D42
S43	D43
S44	D44
S45	D45
S46	D46
S47	D47
S48	D48
S49	D49
S50	D50
S51	D51
S52	D52
S53	D53
S54	D54
S55	D55
S56	D56
S57	D57
S58	D58
S59	D59
S60	D60
S61	D61
S62	D62
S63	D63

(Note) 出力端子出力端子 S1/P1/G1 ~ S9/P9/G9、COM5/S78、KS1/S79 ~ KS6/S84、K11/S85 ~ K15/S89、OSC/S90 はセグメント出力が選択されている場合です。

表示データと出力端子の対応(続き)

出力端子 ^(Note)	COM1
S64	D64
S65	D65
S66	D66
S67	D67
S68	D68
S69	D69
S70	D70
S71	D71
S72	D72
S73	D73
S74	D74
S75	D75
S76	D76
S77	D77
COM5/S78	D78
KS1/S79	D79
KS2/S80	D80
KS3/S81	D81
KS4/S82	D82
KS5/S83	D83
KS6/S84	D84
KI1/S85	D85
KI2/S86	D86
KI3/S87	D87
KI4/S88	D88
KI5/S89	D89
OSC/S90	D90

(Note) 出力端子出力端子 S1/P1/G1 ~ S9/P9/G9、COM5/S78、KS1/S79 ~ KS6/S84、KI1/S85 ~ KI5/S89、OSC/S90 はセグメント出力が選択されている場合です。

例えば、出力端子 S21 の場合、以下のようになります。

表示データ	出力端子(S21)の状態
D21	
0	COM1に対する LCDセグメントが消灯
1	COM1 に対する LCD セグメントが点灯

シリアルデータ出力

1. SCL が「L」レベルで停止している場合 (Note 1)

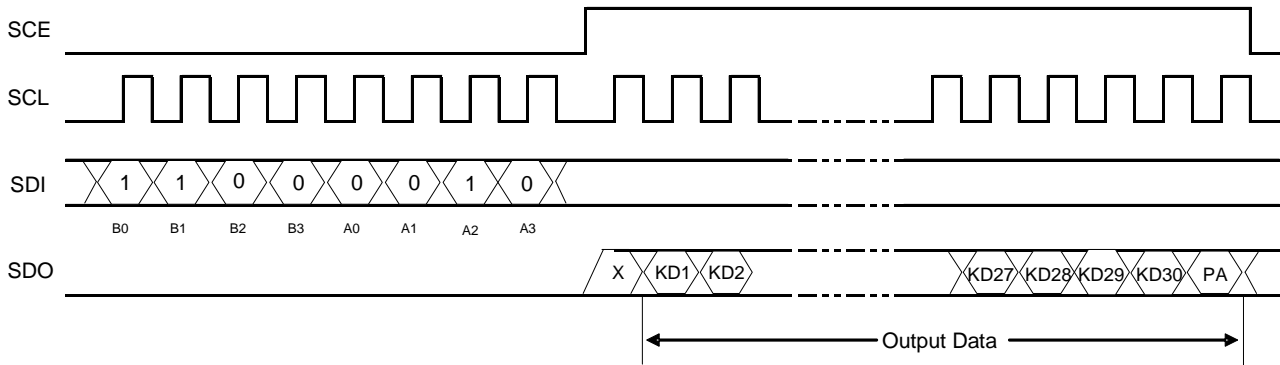


Figure 15. シリアルデータ出力

(Note 1)

1. X=Don't care
2. B0 ~ B3, A0 ~ A3: シリアルインタフェースアドレス
3. シリアルインタフェースアドレス: 43H
4. KD1 ~ KD30: Key データ
5. PA: パワーセーブアクノレッジデータ
6. SDO=「H」で Key データの読み取りを行った場合、Key データ(KD1 ~ KD30)及びパワーセーブアクノレッジデータ(PA)は無効である。

2. SCL が「H」レベルで停止している場合 (Note 2)

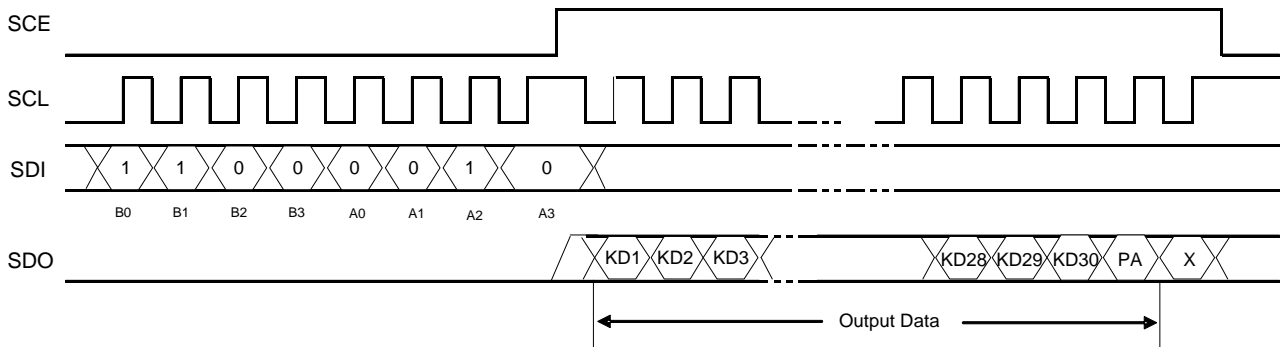


Figure 16. シリアルデータ出力

(Note 2)

1. X=Don't care
2. B0 ~ B3, A0 ~ A3: シリアルインタフェースアドレス
3. シリアルインタフェースアドレス: 43H
4. KD1 ~ KD30: Key データ
5. PA: パワーセーブアクノレッジデータ
6. SDO=「H」で Key データの読み取りを行った場合、Key データ(KD1 ~ KD30)及びパワーセーブアクノレッジデータ(PA)は無効である。

出力データ

1. KD1 ~ KD30: Key データ

出力端子 KS1 ~ KS6 と入力端子 KI1 ~ KI5 により、最大 30Key の Key マトリクス構成した時の Key の出力データで、Key が押された時、その Key に対応する Key データが「1」となります。また、その対応関係を示すと以下のようになります。

項目	KI1	KI2	KI3	KI4	KI5
KS1	KD1	KD2	KD3	KD4	KD5
KS2	KD6	KD7	KD8	KD9	KD10
KS3	KD11	KD12	KD13	KD14	KD15
KS4	KD16	KD17	KD18	KD19	KD20
KS5	KD21	KD22	KD23	KD24	KD25
KS6	KD26	KD27	KD28	KD29	KD30

2. PA: パワーセーブアクノレッジデータ

この出力データは、Key を押した時の状態が設定されます。また、この場合 SDO=「L」となりますが、この期間中にシリアルデータが入力され、モードの設定(ノーマル/パワーセーブ)が行われた場合には、そのモードが設定されます。パワーセーブモードの時 PA=「1」、ノーマルモードの時 PA=「0」となります。

パワーセーブモード

パワーセーブモードは制御データ BU0 ~ BU2 がいずれかひとつでも「1」にされることにより設定され、セグメント出力=「L」、コモン出力=「L」、発振回路は停止(Key on 時は発振)し、消費電流が軽減されます。また、制御データ BU0 ~ BU2 がすべて「0」にされることにより解除されます。ただし、出力端子 S1/P1/G1 ~ S9/P9/G9 は、制御データ P0 ~ P3 により、パワーセーブモード時でも汎用出力端子として使用することができます([制御データの詳細説明](#)を参照のこと)。

Key スキャン動作

1. Key スキャンタイミング

Key スキャンの周期は 4608T(s) であり、確実な Key の on/off を判定するために 2 回の Key スキャンを実行し、Key データの一致を検出しています。Key データが一致した場合には、Key が押されたと判断し、Key スキャン実行開始から 9840T(s)後に Key データ読み取り要求(SDO=「L」)が出力されます。また、Key データが一致せず、その時点で Key が押されていた場合には再び Key スキャンを実行します。したがって、9840T(s)より短い Key の on/off は検出できません。

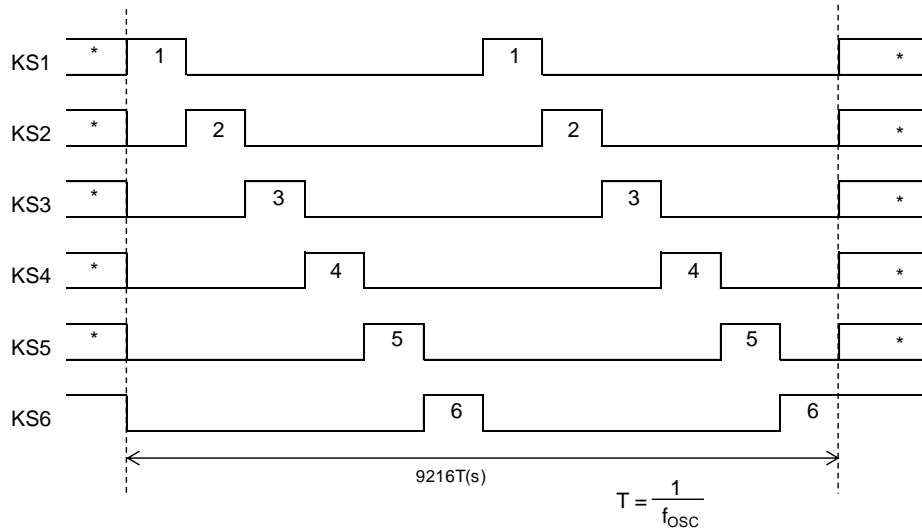


Figure 17. Key スキャンタイミング (Note)

(Note) パワーセーブモード時は制御データ BU0 ~ BU2 により「H」、「L」の状態が設定され、「L」に設定されている端子から Key スキャン出力信号は出力されません。

2. ノーマルモード時

KS1 ~ KS6 の端子は「H」に設定されています。

いずれかの Key が押されると Key スキャンを開始し、すべての Key が離れるまで Key スキャンを行います。

また、多重押しは、Key データが複数セットされているかどうかで判断します。

9840T(s) ($T=1/f_{osc}$)以上 Key が押されると、コントローラに Key データの読み取り要求(SDO=L)が出力され、コントローラはこれをアクノレッジし Key データを読み取ります。ただし、シリアルデータ転送時の SCE=H のときは SDO=H となります。コントローラの Key データ読み取り終了後、Key データの読み取り要求は解除され(SDO=H)、新たな Key スキャンを行います。また、SDO はオープンドレイン出力なのでプルアップ抵抗(1kΩ ~ 10kΩ)が必要です。

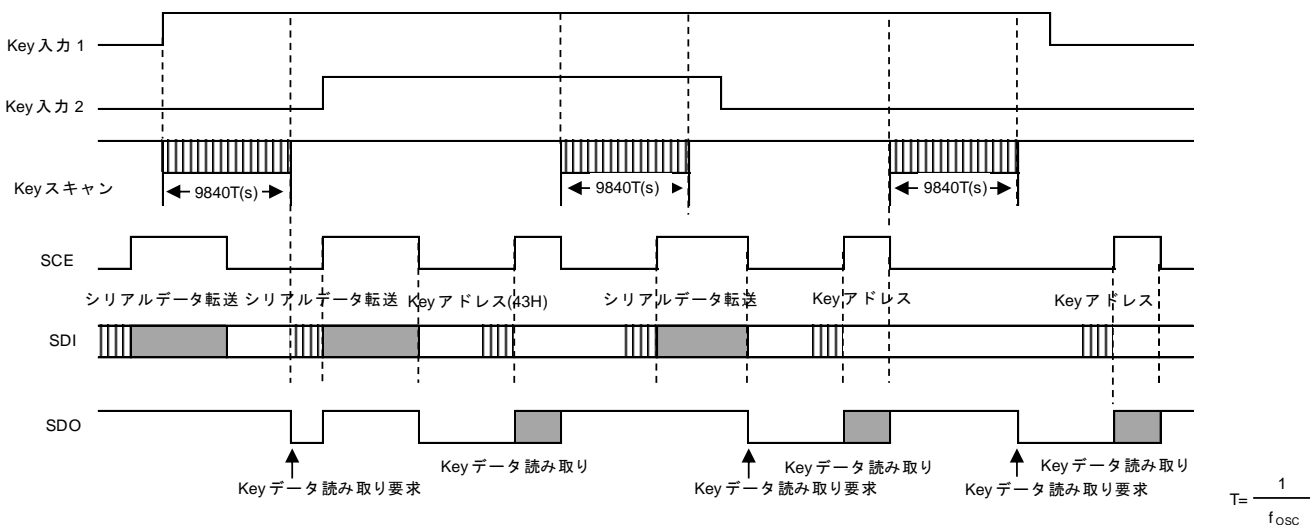


Figure 18. ノーマルモード時の Key スキャン動作

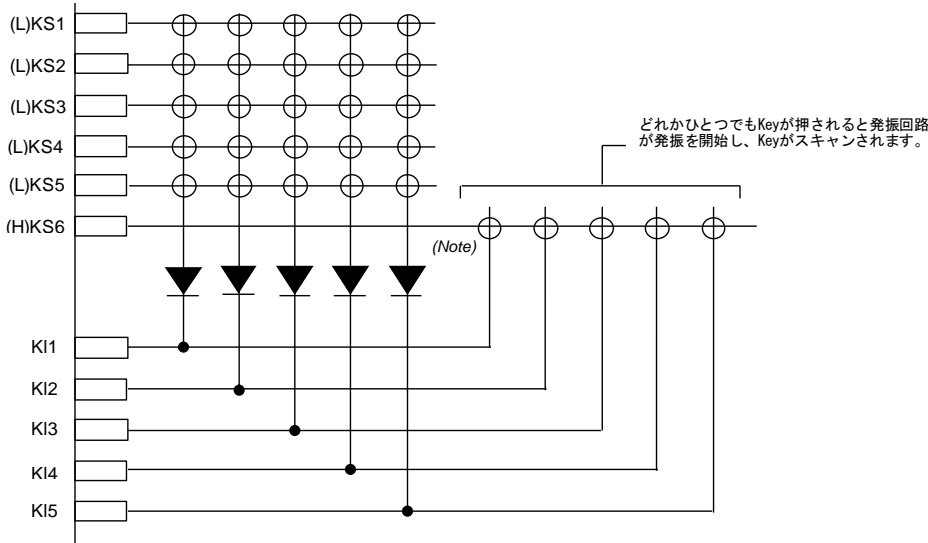
Key スキャン動作(続き)

3. パワーセーブモード時

KS1 ~ KS6 の端子は制御データ BU0 ~ BU2 のデータにより、「H」、「L」に設定されています。(制御データの詳細説明を参照のこと) KS1 ~ KS6 の端子が「H」のラインのいずれかが押されると、発振を開始し Key スキャンを行い、すべての Key が離れるまで Key スキャンを行います。また、多重押しは Key データが複数セットされているかどうかで判断します。9840T(s)($T=1/f_{osc}$)以上 Key が押されると、コントローラに Key データの読み取り要求(SDO=L)が出力され、コントローラはこれをアクノレッジし Key データを読み取ります。ただし、シリアルデータ転送時の SCE=H のときは SDO=H となります。コントローラの Key データ読み取り終了後、Key データ読み取り要求は解除され(SDO=H)、新たな Key スキャンを行います。ただし、パワーセーブモードの解除は行われません。また、SDO はオープンドレイン出力なのでプルアップ抵抗(1kΩ ~ 10kΩ)が必要です。

パワーセーブモード時 Key スキャン例

例: BU0=0, BU1=0, BU2=1 (KS6 のみ H で出力)



(Note) このダイオードは、上記の例のように KS6 だけが H 出力状態にある時、KS6 のラインに沿った Key の 2 重押し以上を確実に認識する場合に必要です。すなわち、KS1 ~ KS5 のラインに沿った Key が同時に押された時、KS6 の Key スキャン出力信号の回り込みによる誤認識を防ぐためです。

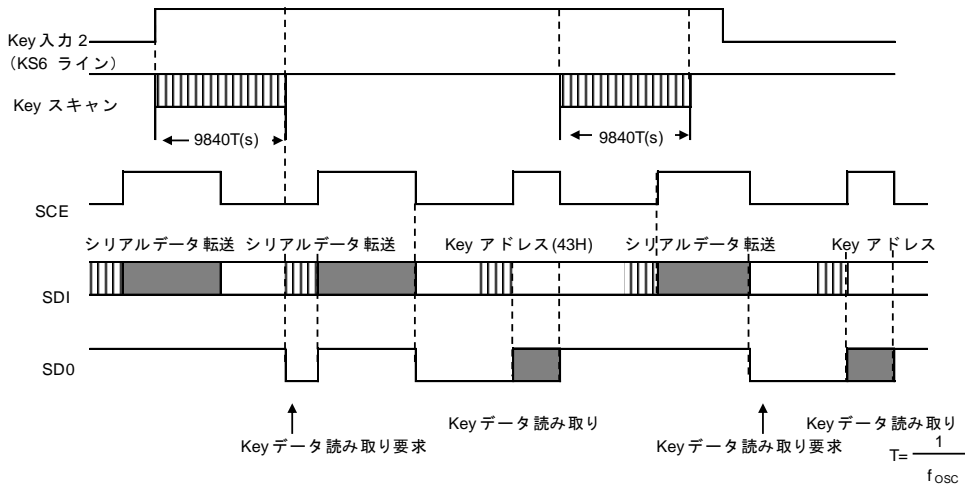


Figure 19. パワーセーブモード時の Key スキャン動作

Key の多重押し

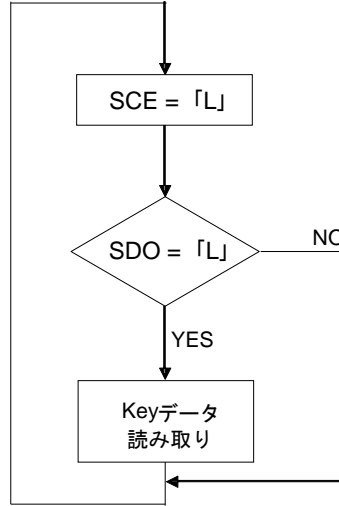
BU97530KVT は Key の 2 重押し、及び、入力端子 KI1 ~ KI5 のラインに沿った Key の 3 重押し、及び、出力端子 KS1 ~ KS6 のラインに沿った Key の多重押しについてはダイオードを入れなくても Key スキャンが可能です。これらの場合以外の Key の多重押しについては、本来押されていない Key が押されているものと認識される可能性がありますので、各 Key に直列にダイオードを入れてください。また、3 重押し以上を認めない場合は読みだした Key データに 3 個以上「1」があったとき、ソフト上でそのデータを無視するなどの方法をとってください。

コントローラによる Key データの読み取り方法

コントローラが BU97530KVT から Key データ読み取り要求を受け取った場合、コントローラはタイマ処理による Key データ読み取りと割り込み処理による Key データ読み取りのいずれかを実施します。

1. タイマ処理による Key データ読み取り

コントローラがタイマ処理で、Key の on/off の判別及び Key データの読み取りにタイマを使用します。下記のフローチャートを参照してください。



Key データ読み取りについては [シリアルデータ出力](#) を参照してください。

Figure 20. フローチャート

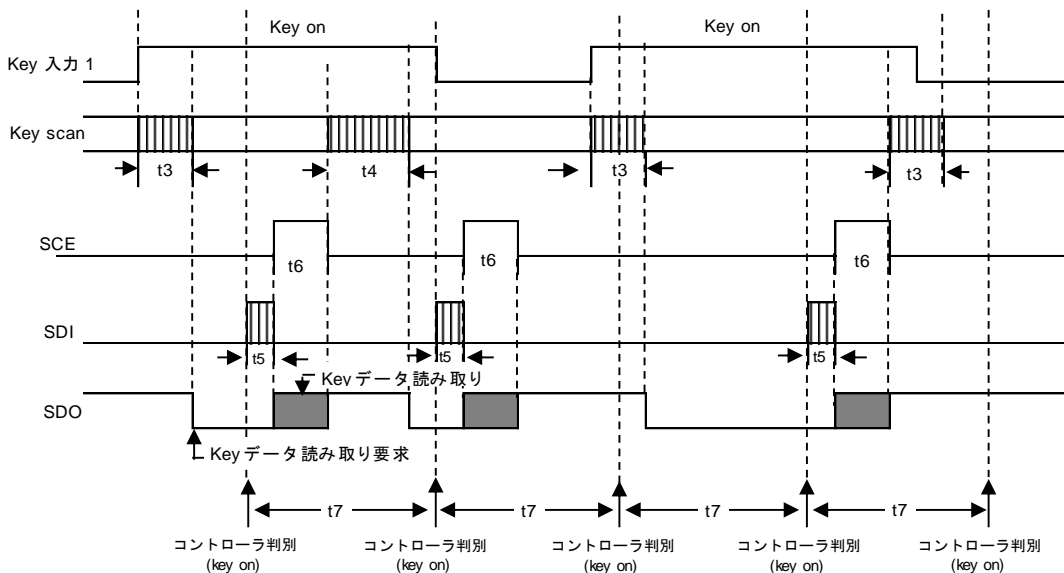
コントローラがタイマ処理で、Key の on/off の判別及び Key データの読み取りを行う場合は、 t_7 時間毎に必ず SCE=「L」の状態

このときの t_7 は必ず

$$t_7 > t_4 + t_5 + t_6$$

としてください。SDO=「H」で Key データの読み取りを行った場合、Key データ(KD1 ~ KD30)及びパワーセーブアクノ

レジデータ(PA)は無効となります。



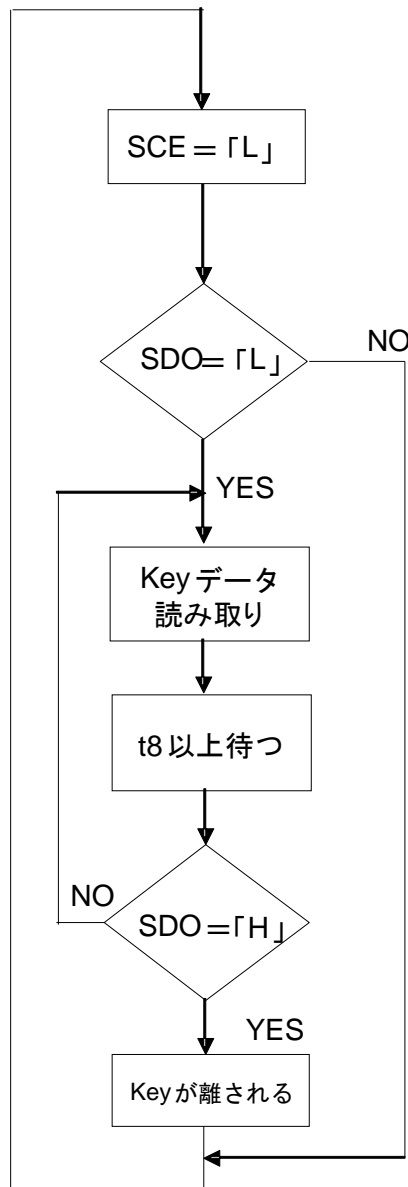
- t32 回の Key スキャンの Key データが一致した場合の Key スキャン実行時間(9840T(s))
- t42 回の Key スキャンの Key データが一致せず再び Key スキャンを実行した場合の Key スキャン実行時間(19680T(s))
T=1/ fosc
- t5Key アドレス(43H) 転送時間
- t6Key データ読み取り時間

Figure 21. タイマ処理による Key データ読み取り動作

コントローラによる Key データの読み取り方法(続き)

2. 割り込み処理による Key データ読み取り

コントローラが割り込み処理で、Key の on/off の判別及び Key データの読み取りに割り込みを使用します。下記のフローチャートを参照してください。



Key データ読み取りについては[シリアルデータ出力](#)を参照してください。

Figure 22. フローチャート

コントローラによる Key データの読み取り方法(続き)

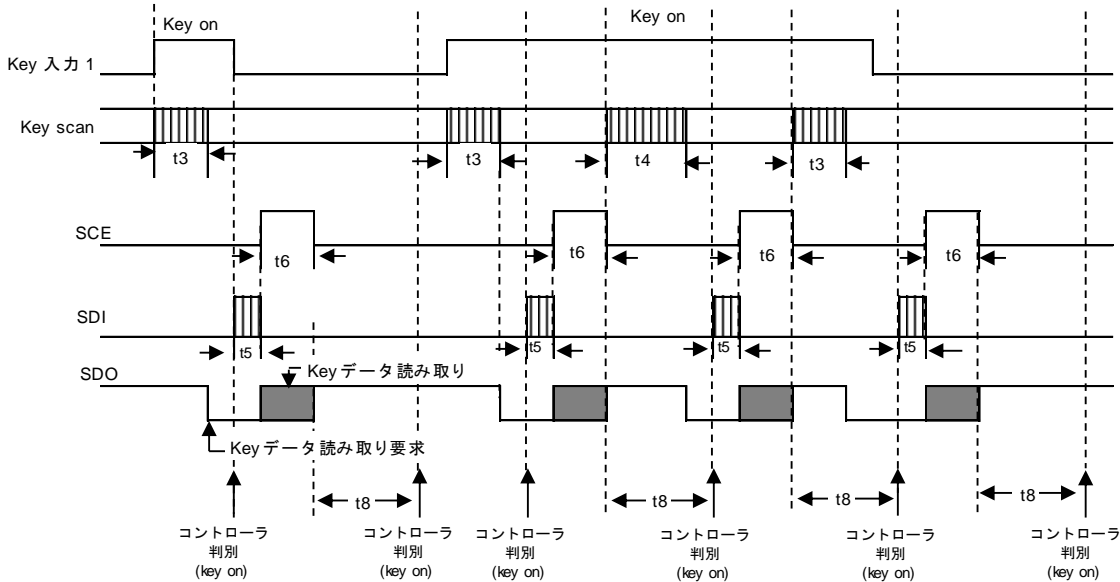
コントローラが割り込み処理で、Key の on/off の判別及び Key データの読み取りを行う場合は、必ず、SCE=「L」の時に SDO の状態を確認し、SDO=「L」ならば Key データの読み取りを行ってください。また、その後の Key の on/off の判別は、t8 時間後の SCE=「L」の時の SDO の状態によって判断して、Key データの読み取りを行ってください。

このときの t8 は必ず

$$t8 > t4$$

としてください。

SDO=「H」で Key データの読み取りを行った場合、Key データ(KD1 ~ KD30)及びパワーセーブアクノレッジデータ(PA)は無効となります。



t3 ……2 回の Key スキャンの Key データが一致した場合の Key スキャン実行時間(9840T(s))

t4 ……2 回の Key スキャンの Key データが一致せず再び Key スキャンを実行した場合の Key スキャン実行時間(19680T(s))

$$T=1/f_{osc}$$

t5 ……Key アドレス(43H)転送時間

t6 ……Key データ読み取り時間

Figure 23. 割り込み処理による Key データ読み取り動作

液晶駆動波形

1. ライン反転 1/5 デューティ 1/3 バイアス

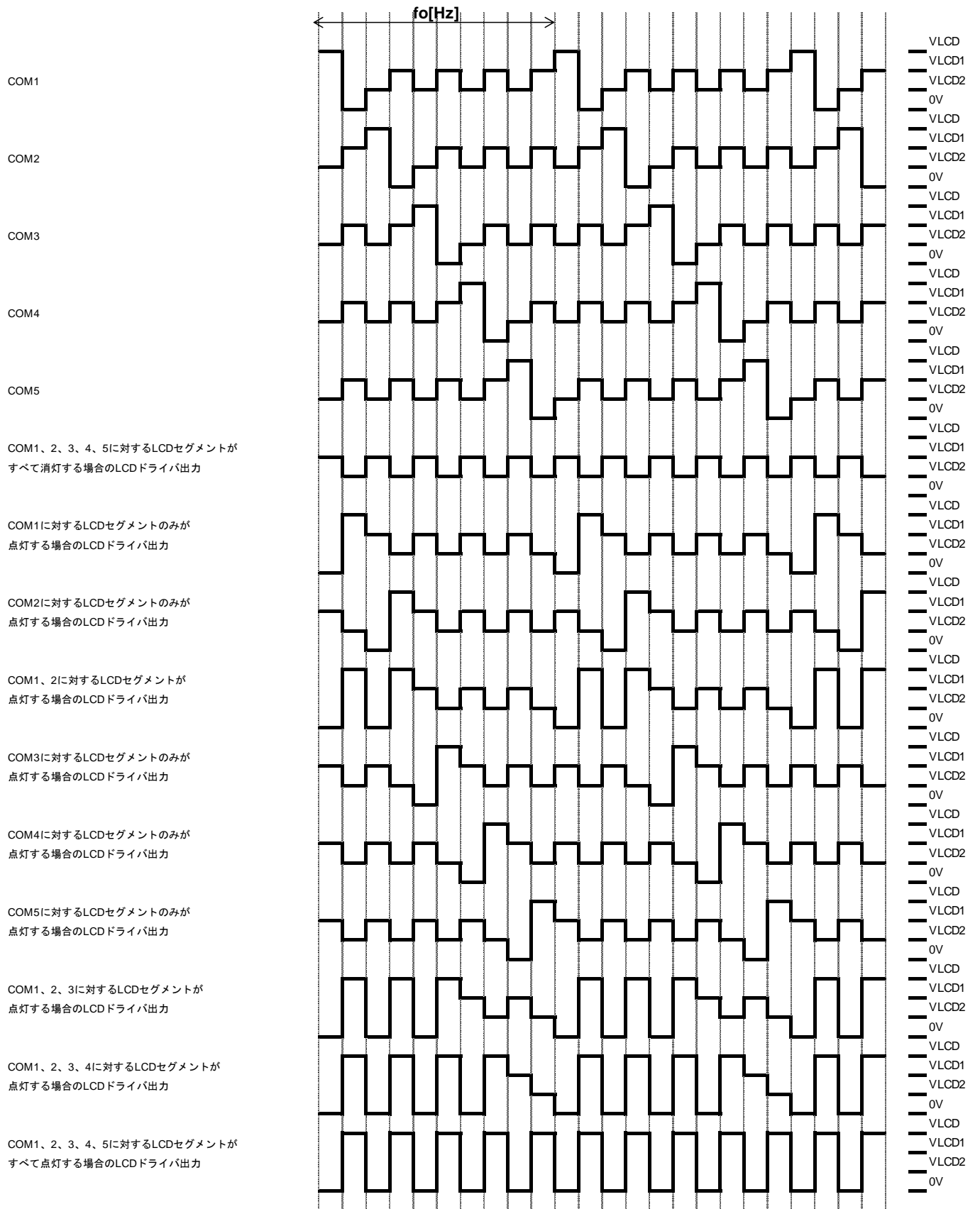


Figure 24. 液晶駆動波形図 (ライン反転、1/5 デューティ、1/3 バイアス)

液晶駆動波形(続き)

2. ライン反転 1/5 デューティ 1/2 バイアス

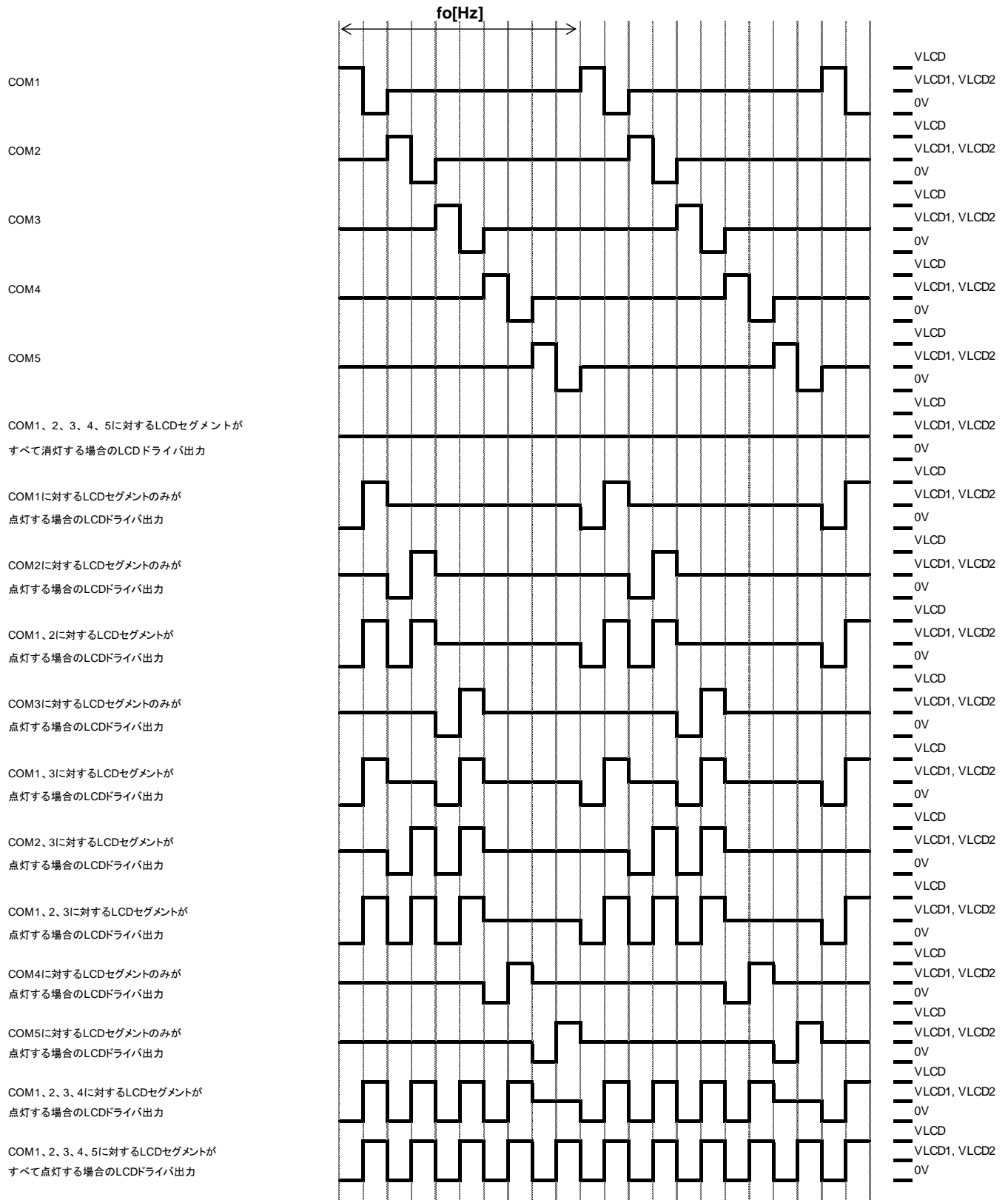


Figure 25. 液晶駆動波形図(ライン反転、1/5 デューティ、1/2 バイアス)

液晶駆動波形(続き)

3.ライン反転 1/4 デューティ 1/3 バイアス

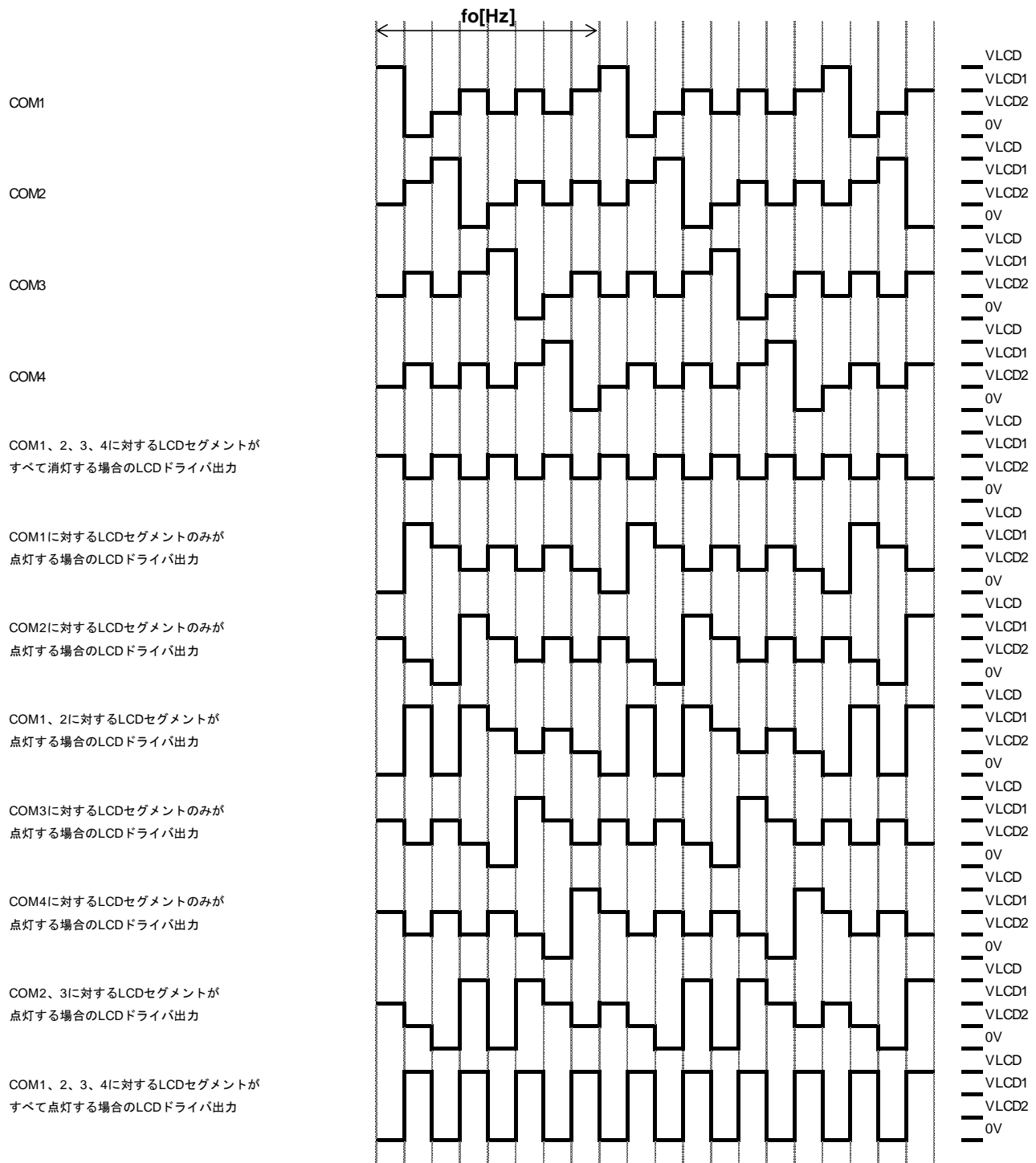


Figure 26. 液晶駆動波形図(ライン反転、1/4 デューティ、1/3 バイアス)

液晶駆動波形(続き)

4. ライン反転 1/4 デューティ 1/2 バイアス

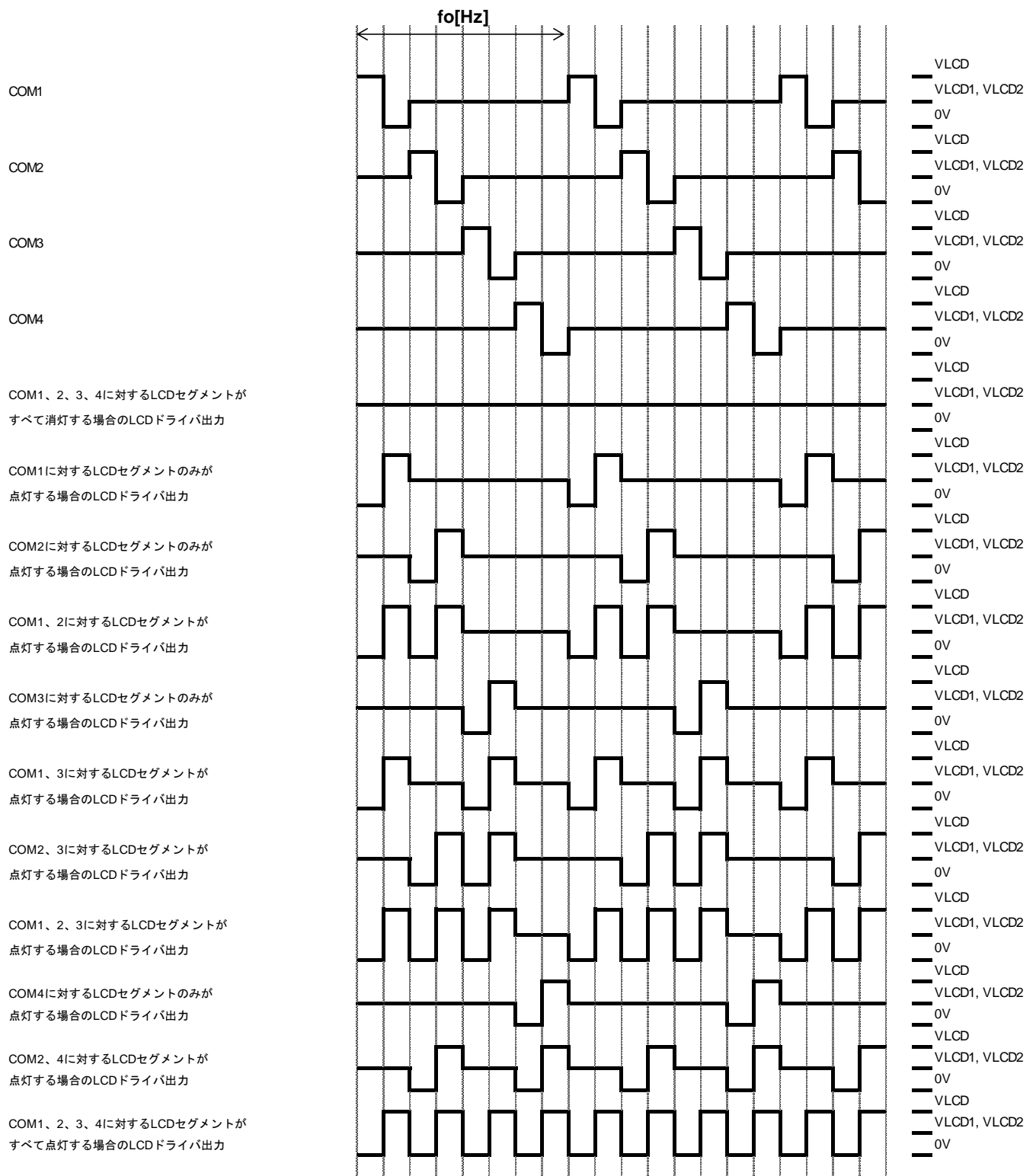


Figure 27. 液晶駆動波形図(ライン反転、1/4 デューティ、1/2 バイアス)

液晶駆動波形(続き)

5. ライン反転 1/3 デューティ 1/3 バイアス

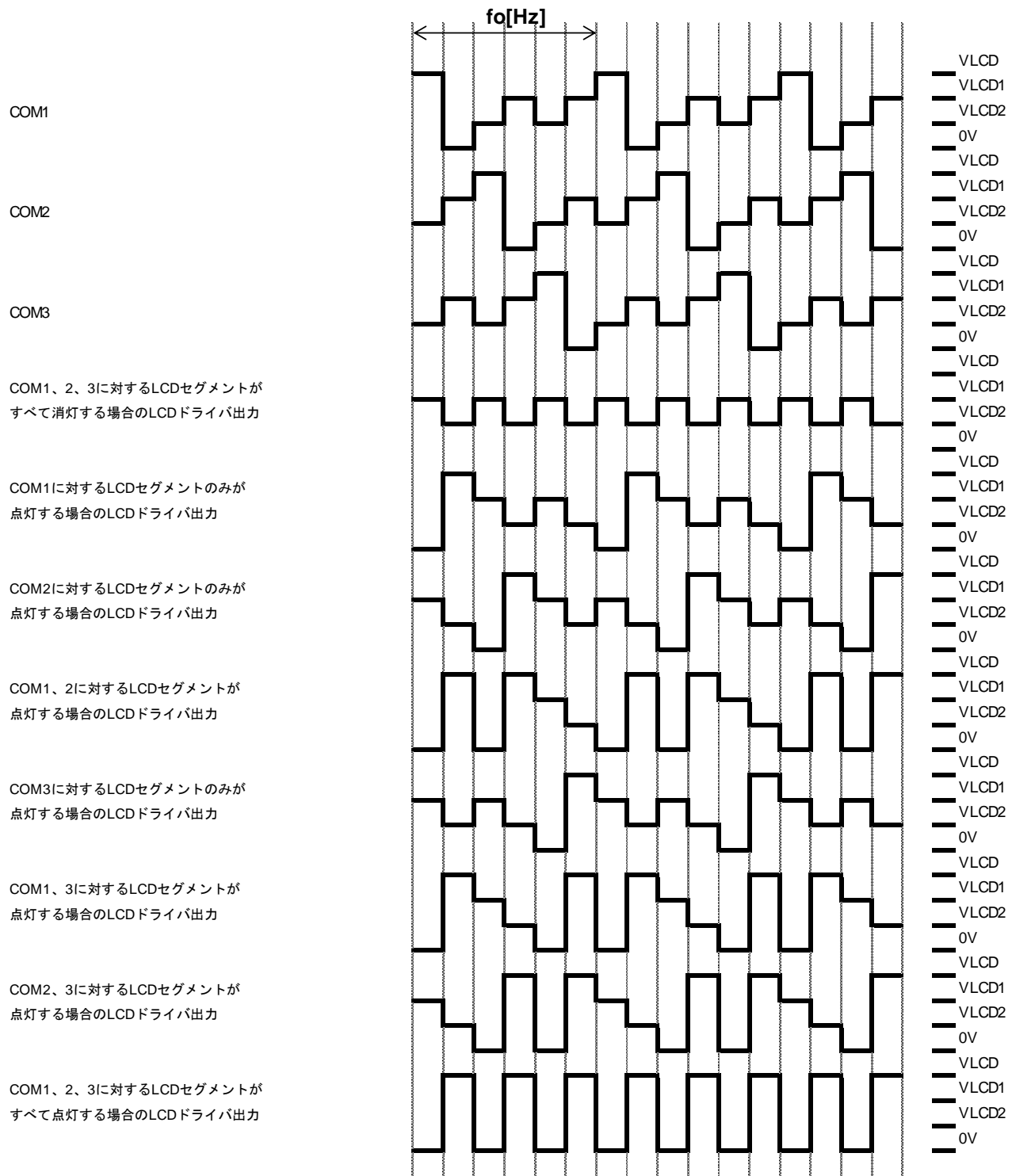


Figure 28. 液晶駆動波形(ライン反転、1/3 デューティ、1/3 バイアス) (Note)

(Note) 1/3 デューティでは COM4 波形は COM1 波形と同様になります。

液晶駆動波形(続き)

6. ライン反転 1/3 デューティ 1/2 バイアス

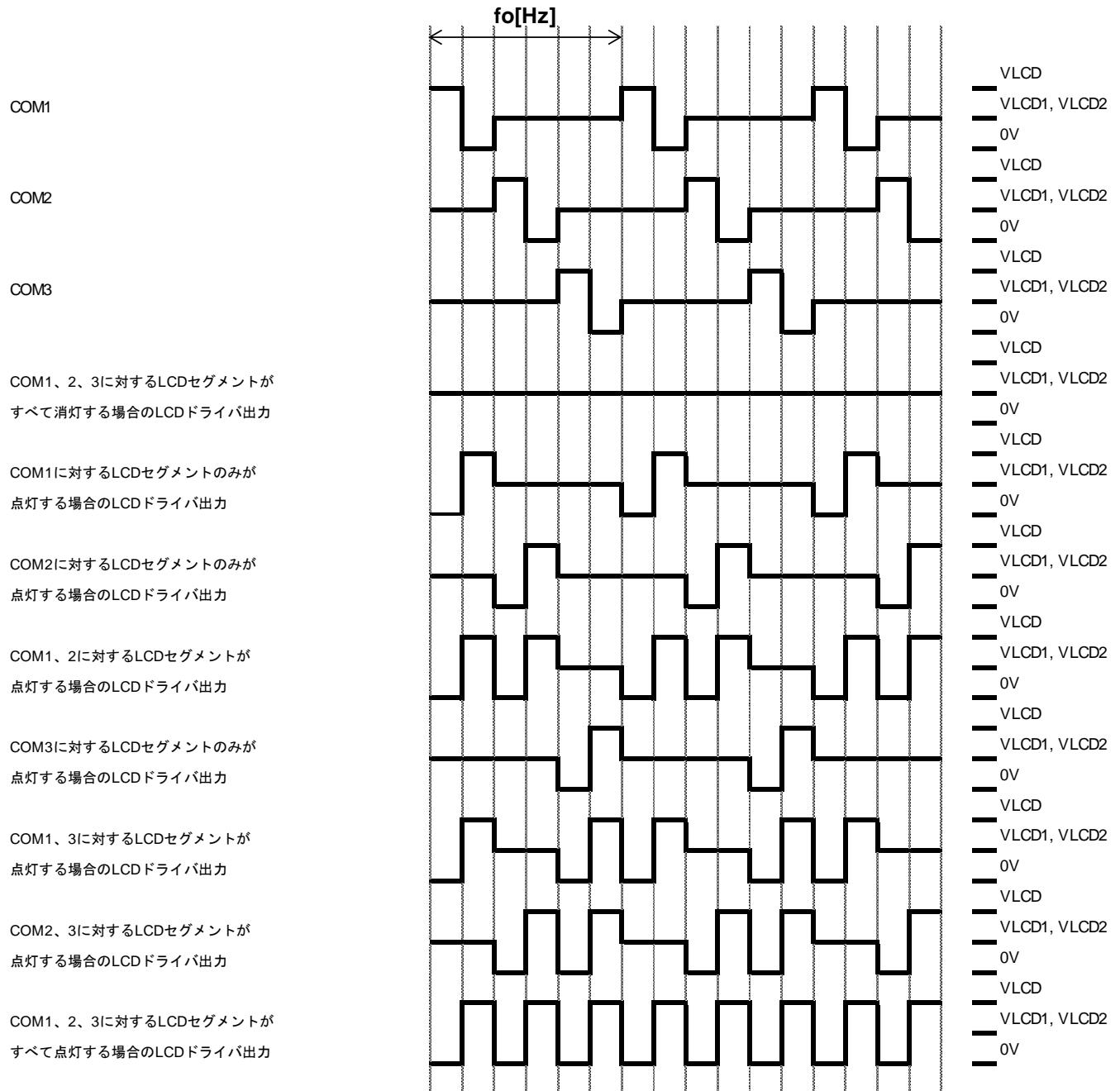


Figure 29. 液晶駆動波形図 (ライン反転、1/3 デューティ、1/2 バイアス) ^(Note)

(Note) 1/3 デューティでは COM4 波形は COM1 波形と同様になります。

液晶駆動波形(続き)

7. ライン反転 Static

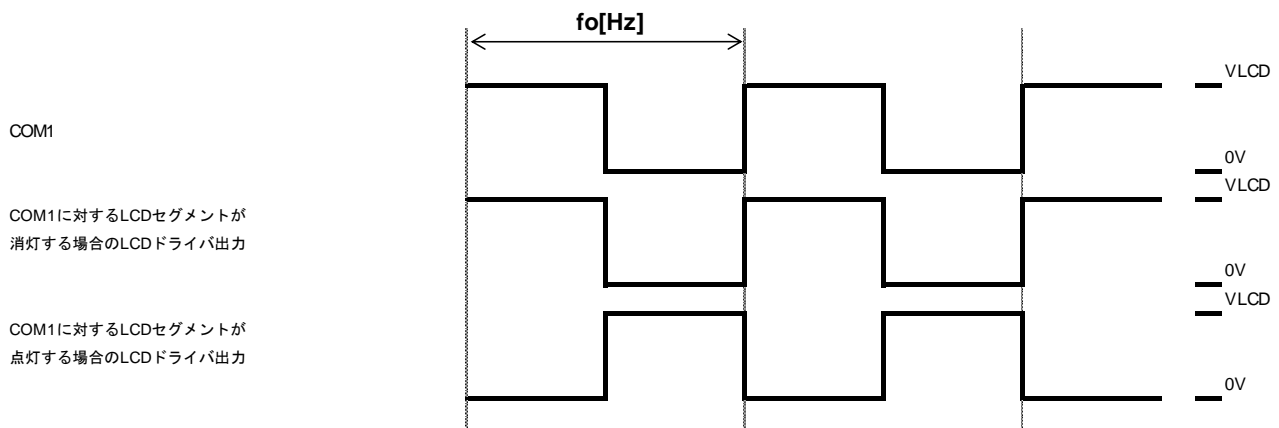


Figure 30. 液晶駆動波形図 (ライン反転、Static) (Note)

(Note) Static では COM2 、 COM3、 COM4 波形は COM1 波形と同様になります。

液晶駆動波形(続き)

8. フレーム反転 1/5 デューティ 1/3 バイアス

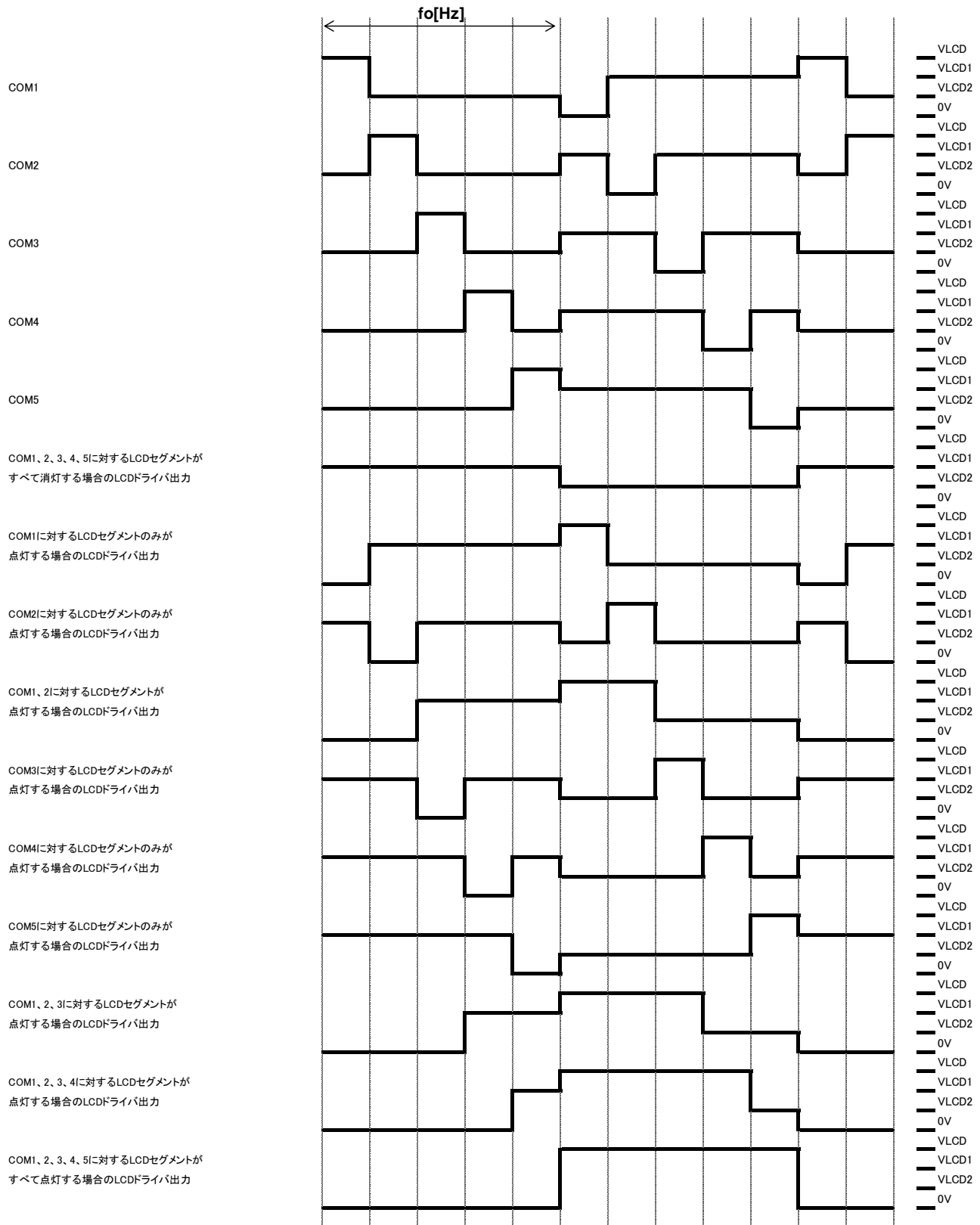


Figure 31. 液晶駆動波形図 (フレーム反転、1/5 デューティ、1/3 バイアス)

液晶駆動波形(続き)

9. フレーム反転 1/5 デューティ 1/2 バイアス

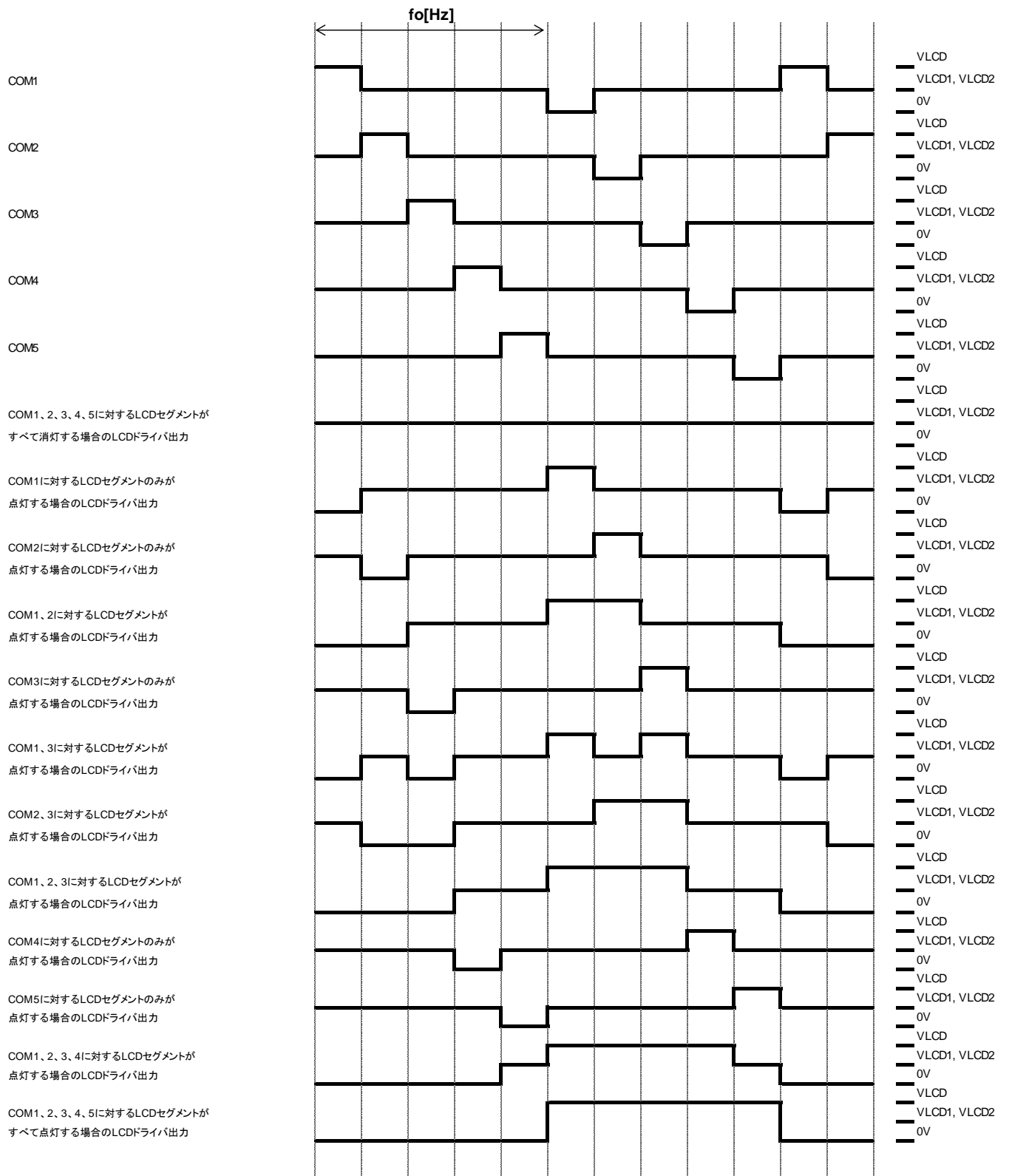


Figure 32. 液晶駆動波形図 (フレーム反転、1/5 デューティ、1/2 バイアス)

液晶駆動波形(続き)

10. フレーム反転 1/4 デューティ 1/3 バイアス

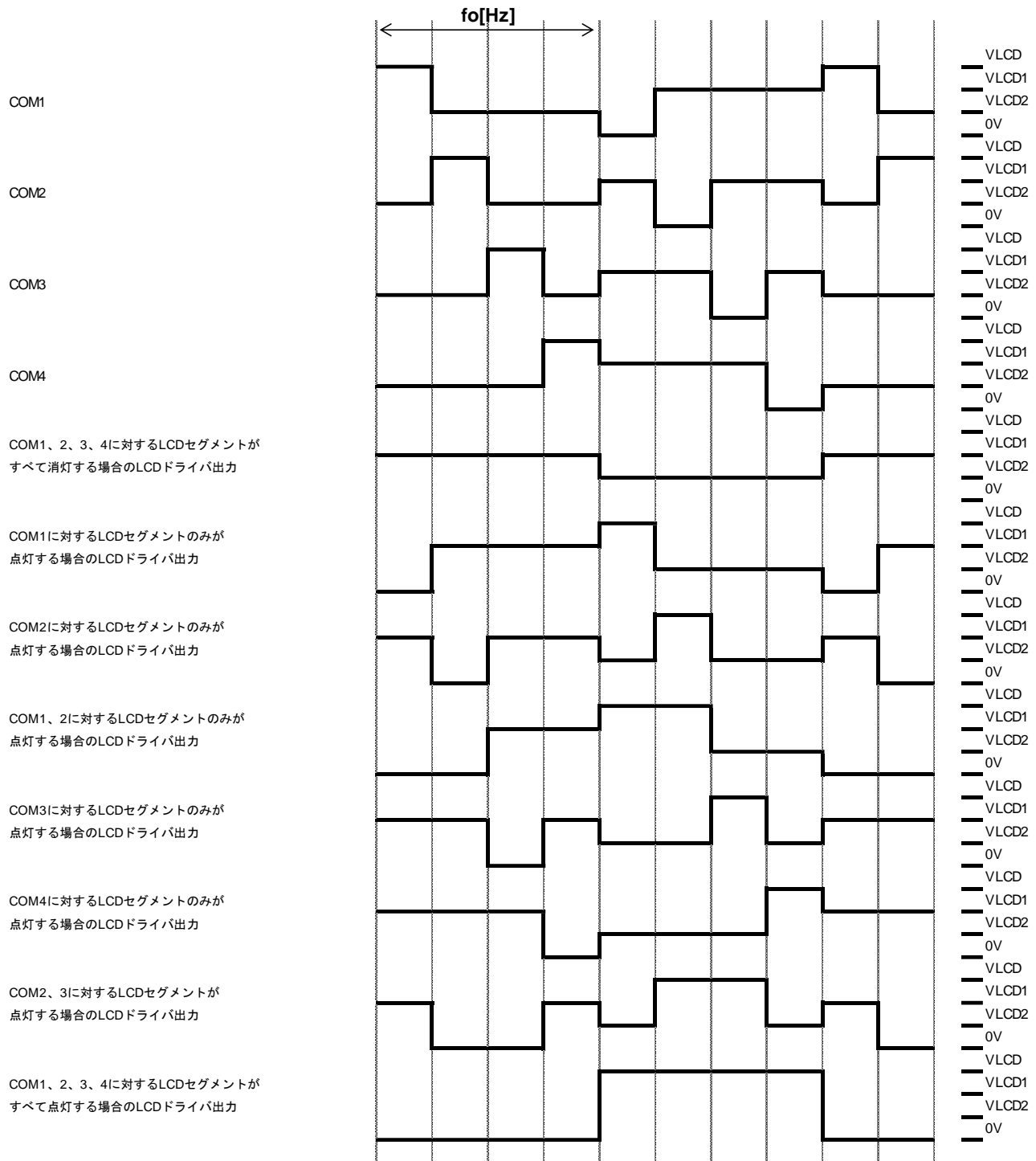


Figure 33. 液晶駆動波形図 (フレーム反転、1/4 デューティ、1/3 バイアス)

液晶駆動波形(続き)

11. フレーム反転 1/4 デューティ 1/2 バイアス

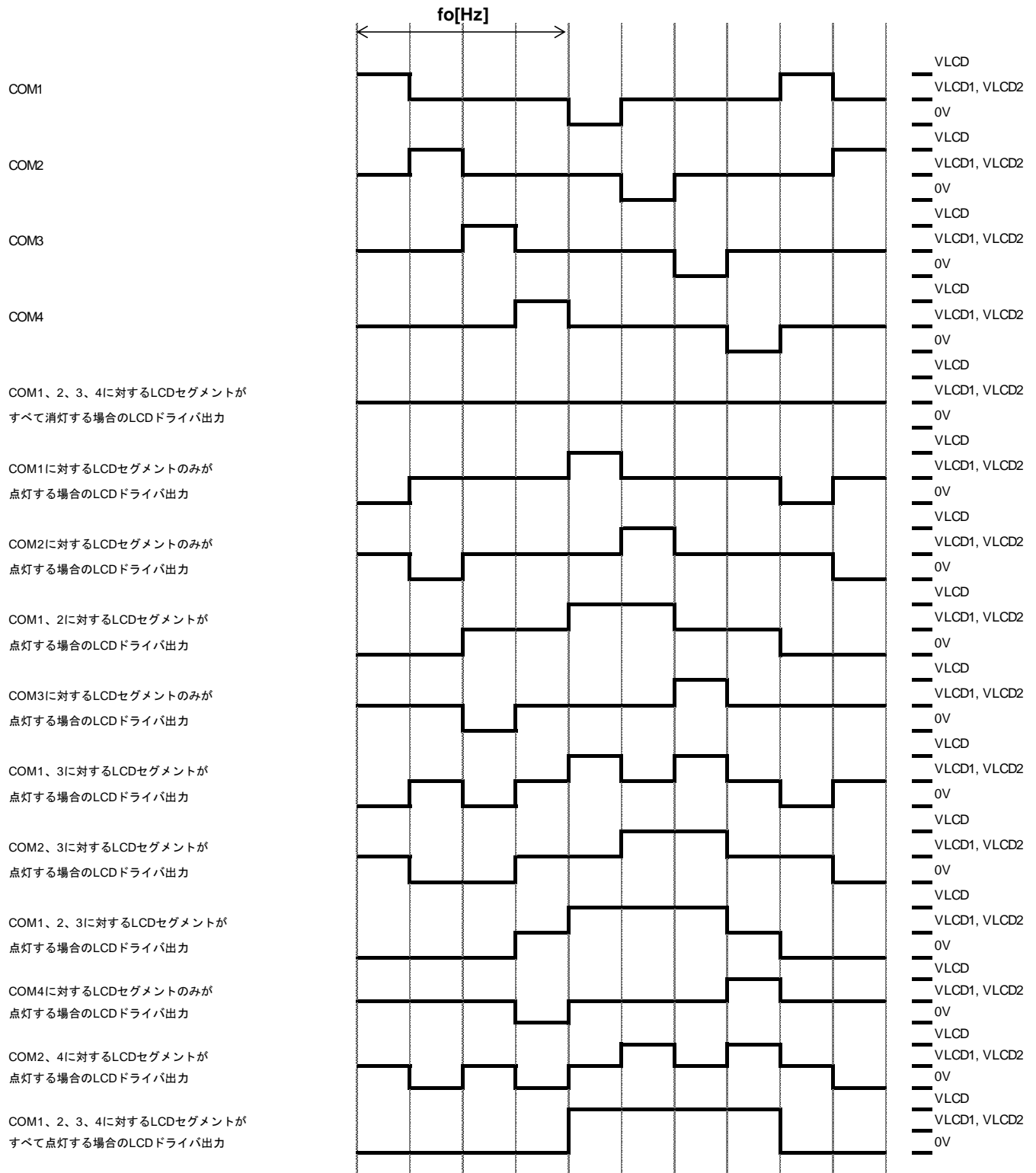


Figure 34. 液晶駆動波形図 (フレーム反転、1/4 デューティ、1/2 バイアス)

液晶駆動波形(続き)

12. フレーム反転 1/3 デューティ 1/3 バイアス

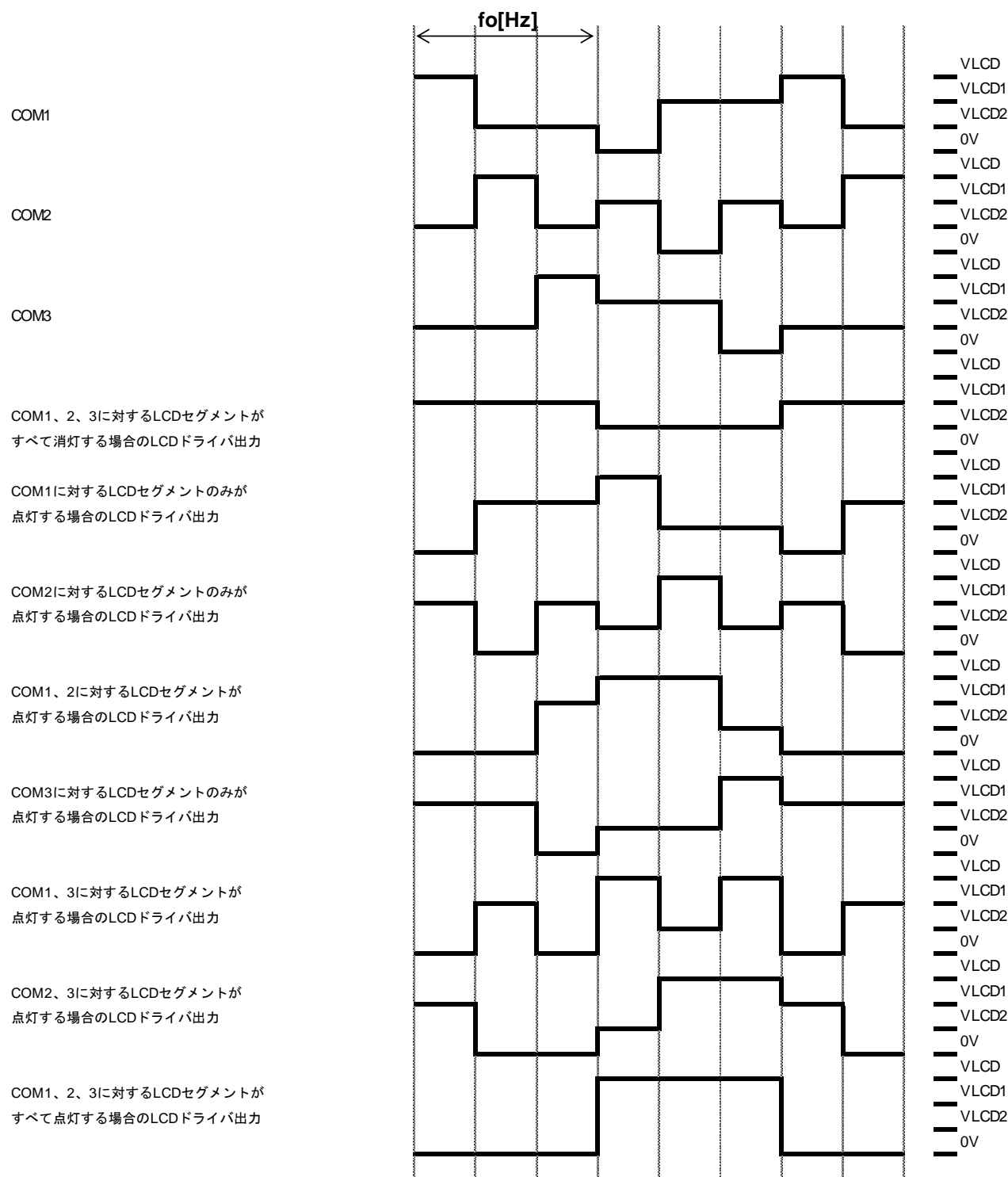


Figure 35. 液晶駆動波形図 (フレーム反転、1/3 デューティ、1/3 バイアス) (Note)

(Note) 1/3 デューティでは COM4 波形は COM1 波形と同様になります。

液晶駆動波形(続き)

13. フレーム反転 1/3 デューティ 1/2 バイアス

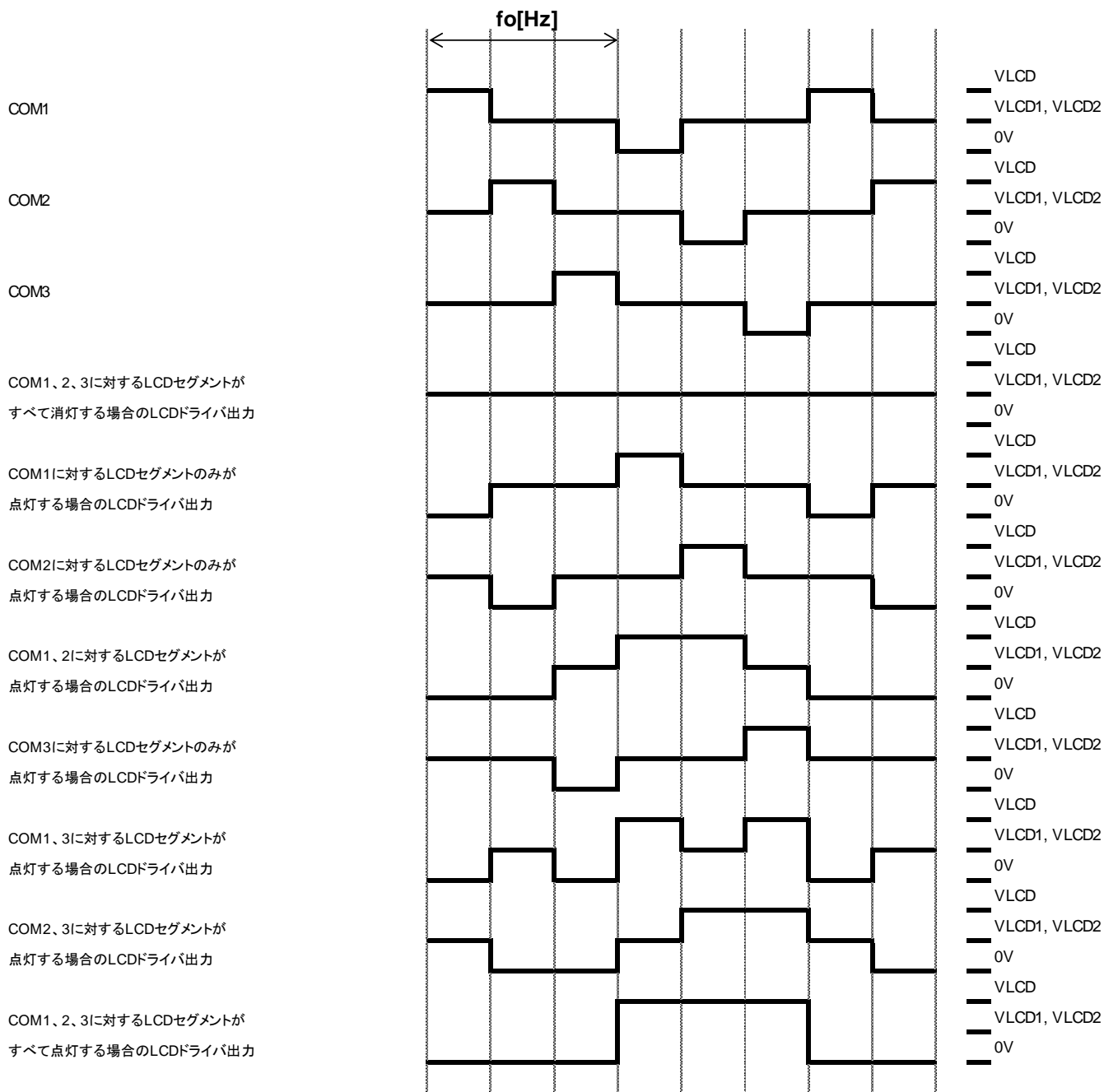


Figure 36. 液晶駆動波形図 (フレーム反転、1/3 デューティ、1/2 バイアス) (Note)

(Note) 1/3デューティではCOM4波形はCOM1波形と同様になります。

液晶駆動波形(続き)

14. フレーム反転 Static

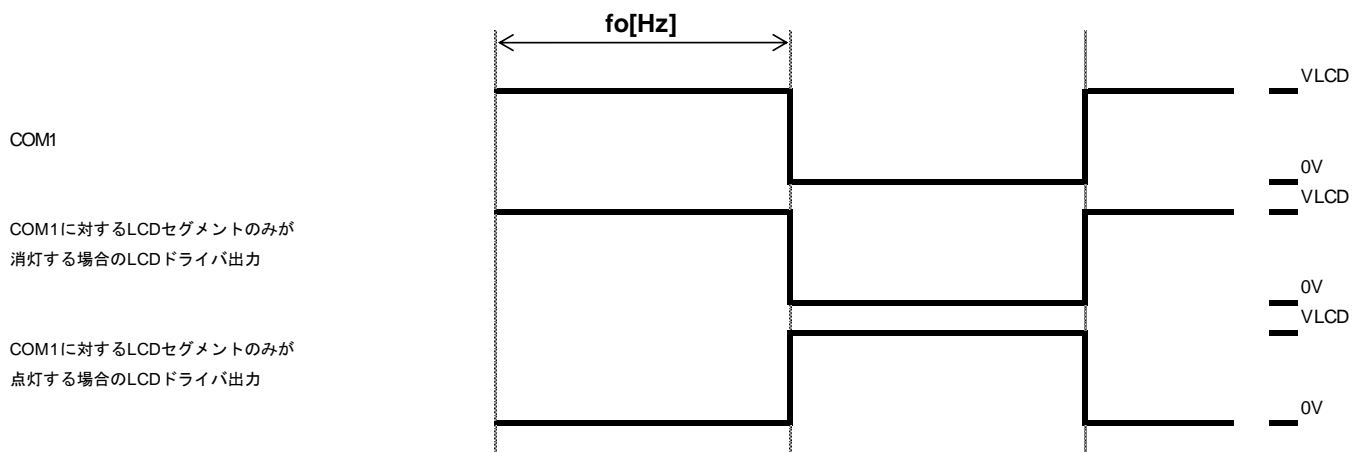


Figure 37. 液晶駆動波形図 (フレーム反転、Static) (Note)

(Note) StaticではCOM2、COM3、COM4波形はCOM1波形と同様になります。

内部発振回路の発振安定時間について

内部発振回路は、発振開始後安定までに最大100µs必要となります。

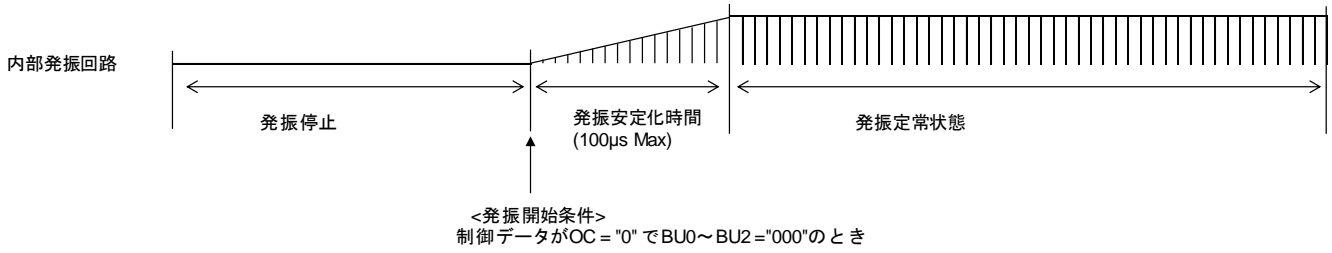


Figure 38. 発振安定時間

外部クロックモード時のパワーセーブ動作について

BU97530KVTでは、[BU0,BU1,BU2]=[1,1,1]受信後、フレーム同期でパワーセーブモードになり、セグメント出力とコモン出力はVSSレベルを出力します。

したがって、外部クロックモードで使用する場合は、[BU0,BU1,BU2]=[1,1,1]送信完了後、各フレーム周波数設定にしたがった外部クロックの入力が必要です。

各フレーム周波数設定時に必要な外部クロック数は、「6. FC0、FC1、FC2、FC3: コモン/セグメント出力波形のフレーム周波数切替え制御データ」を参照してください。

例えば、

[FC0, FC1, FC2, FC3]=[0,0,0,0]:fosc/12288 設定時は 12288clk 以上、

[FC0, FC1, FC2, FC3]=[0,1,0,1]:fosc/4608 設定時は 4608clk 以上、

[FC0, FC1, FC2, FC3]=[1,1,1,1]:fosc/1536 設定時は 1536clk 以上の外部クロックを入力してください。

下記のタイミングチャートを参照してください。

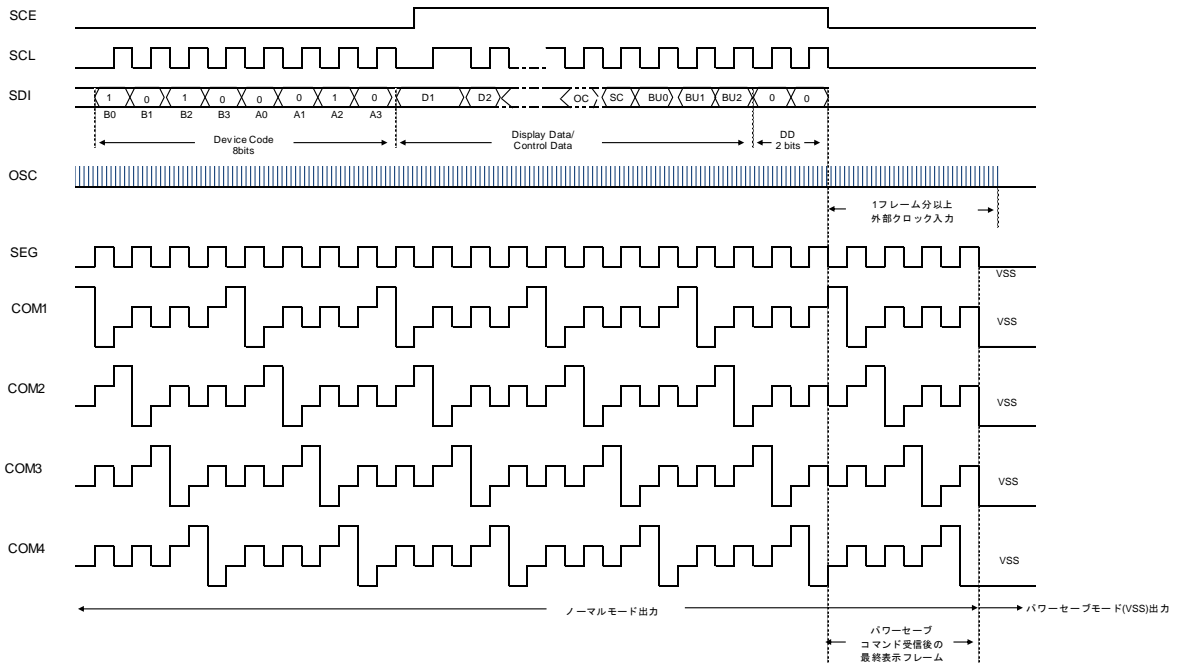


Figure 39. 外部クロック停止タイミング(1/4 デューティ時)

電圧検出型リセット回路(VDET)について

電源投入時及び減電時、つまり電源電圧(VDD)がパワーダウン検出電圧 $V_{DET}1.8V(Typ)$ 以下では、出力信号を発生しシステムにリセットがかかります。また、この動作を確実にするために、電源ラインにコンデンサを付加し、電源投入時の電源電圧(VDD)の立ち上がり時間、減電時の電源電圧(VDD)の立ち下がり時間を1ms以上確保してください。

データの送受信に失敗することがありますので電源電圧の立ち上がり立ち下がり中にデータ転送は行わないでください

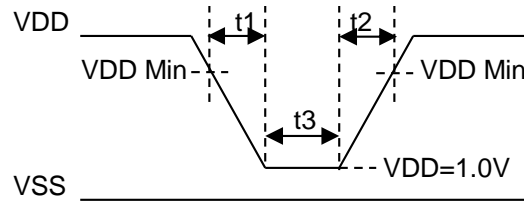


Figure 40. VDET 検出タイミング

- 電源電圧(VDD) 立ち下がり時間: $t1 \geq 1ms$
- 電源電圧(VDD) 立ち上がり時間: $t2 \geq 1ms$
- 内部リセット電源保持時間: $t3 \geq 1ms$

上記条件を守れない場合には、ICの初期化が行われなため、意図しない表示点灯等が発生する可能性があります。このような影響を少なくするために、電源投入後は可能な限り早く、ICの初期化を行ってください。

下記のICの初期化フローを参照してください。

ただし、電源OFF時にはコマンド受付できないため、下記のICの初期化フローはPORと全く同じ動作ではありません。

電源投入後すぐにBUコマンドをパワーセーブモード([BU0,BU1,BU2]=[1,1,1])、SCコマンドを表示OFF(SC=1)に設定してください。

BU97530KVTは電源投入後(VDD:90%)0ns後に、コマンド受信が可能です。

リセット状態

電源投入後の各制御データのリセット値は下記のようになります。

制御データ	リセット値
Key スキャンモード	[KM0,KM1,KM2]=[1,1,1]:Key スキャン選択なし
S1/P1/G1 ~ S9/P9/G9 端子	[P0,P1,P2,P3]=[0,0,0,0]:全ピンセグメント出力
バイアス設定	DR=0:1/3 バイアス
デューティ設定	[DT0,DT1]=[1,0]:1/4 デューティ
ライン/フレーム反転	FL=0: ライン反転
表示フレーム周波数	[FC0,FC1,FC2,FC3]=[0,0,0,0]:fosc/12288
表示クロック設定	OC=0:内部発振モード
表示状態	SC=1:OFF
パワーモード	[BU0,BU1,BU2]=[1,1,1]:パワーセーブモード
PWM / GPO 設定	PGx=0:PWM 出力(x=1 ~ 9)
PWM 周波数	[PF0,PF1,PF2,PF3]=[0,0,0,0]:fosc/4096
PWM デューティ	[Wn1 ~ Wn8]=[0,0,0,0,0,0,0,0]: $(0/256) \times T_p$ (n=1 ~ 9, $T_p=1/fp$)
表示コントラスト設定	[CT0,CT1,CT2,CT3]=[0,0,0,0]: V_LCD 電圧 : $1.00 \times V_{DD}$

使用上の注意

1. 電源の逆接続について

電源コネクタの逆接続により LSI が破壊する恐れがあります。逆接続破壊保護用として外部に電源と LSI の電源端子間にダイオードを入れるなどの対策を施してください。

2. 電源ラインについて

基板パターンの設計においては、電源ラインの配線は、低インピーダンスになるようにしてください。その際、デジタル系電源とアナログ系電源は、それらが同電位であっても、デジタル系電源パターンとアナログ系電源パターンは分離し、配線パターンの共通インピーダンスによるアナログ電源へのデジタル・ノイズの回り込みを抑制してください。グラウンドラインについても、同様のパターン設計を考慮してください。

また、LSI のすべての電源端子について電源-グラウンド端子間にコンデンサを挿入するとともに、電解コンデンサ使用の際は、低温で容量低下が起こることなど使用するコンデンサの諸特性に問題ないことを十分ご確認のうえ、定数を決定してください。

3. グラウンド電位について

グラウンド端子の電位はいかなる動作状態においても、最低電位になるようにしてください。また実際に過渡現象を含め、グラウンド端子以外のすべての端子がグラウンド以下の電圧にならないようにしてください。

4. グラウンド配線パターンについて

小信号グラウンドと大電流グラウンドがある場合、大電流グラウンドパターンと小信号グラウンドパターンは分離し、パターン配線の抵抗分と大電流による電圧変化が小信号グラウンドの電圧を変化させないように、セットの基準点で 1 点アースすることを推奨します。外付け部品のグラウンドの配線パターンも変動しないよう注意してください。グラウンドラインの配線は、低インピーダンスになるようにしてください。

5. 推奨動作条件について

この範囲であればほぼ期待通りの特性を得ることが出来る範囲です。電気特性については各項目の条件下において保証されるものです。

6. ラッシュカレントについて

IC 内部論理回路は、電源投入時に論理不定状態で、瞬間的にラッシュカレントが流れる場合がありますので、電源カップリング容量や電源、グラウンドパターン配線の幅、引き回しに注意してください。

7. 強電磁界中の動作について

強電磁界中でのご使用では、まれに誤動作する可能性がありますのでご注意ください。

8. セット基板での検査について

セット基板での検査時に、インピーダンスの低いピンにコンデンサを接続する場合は、IC にストレスがかかる恐れがあるので、1 工程ごとに必ず放電を行ってください。静電気対策として、組立工程にはアースを施し、運搬や保存の際には十分ご注意ください。また、検査工程での治具への接続をする際には必ず電源を OFF にしてから接続し、電源を OFF にしてから取り外してください。

9. 端子間ショートと誤装着について

プリント基板に取り付ける際、IC の向きや位置ずれに十分注意してください。誤って取り付けられた場合、IC が破壊する恐れがあります。また、出力と電源及びグラウンド間、出力間に異物が入るなどしてショートした場合についても破壊の恐れがあります。

使用上の注意(続き)**10. 未使用の入力端子の処理について**

CMOS トランジスタの入力は非常にインピーダンスが高く、入力端子をオープンにすることで論理不定の状態になります。これにより内部の論理ゲートの p チャネル、n チャネルトランジスタが導通状態となり、不要な電源電流が流れます。また 論理不定により、想定外の動作をすることがあります。よって、未使用の端子は特に仕様書上でうたわれていない限り、適切な電源、もしくはグラウンドに接続するようにしてください。

11. 各入力端子について

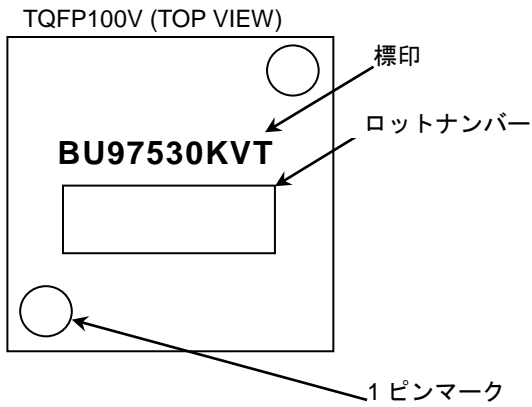
LSI の構造上、寄生素子は電位関係によって必然的に形成されます。寄生素子が動作することにより、回路動作の干渉を引き起こし、誤動作、ひいては破壊の原因となり得ます。したがって、入力端子にグラウンドより低い電圧を印加するなど、寄生素子が動作するような使い方をしないよう十分注意してください。また、LSI に電源電圧を印加していない時、入力端子に電圧を印加しないでください。さらに、電源電圧を印加している場合にも、各入力端子は電源電圧以下の電圧もしくは電気的特性の保証値内としてください。

発注形名情報

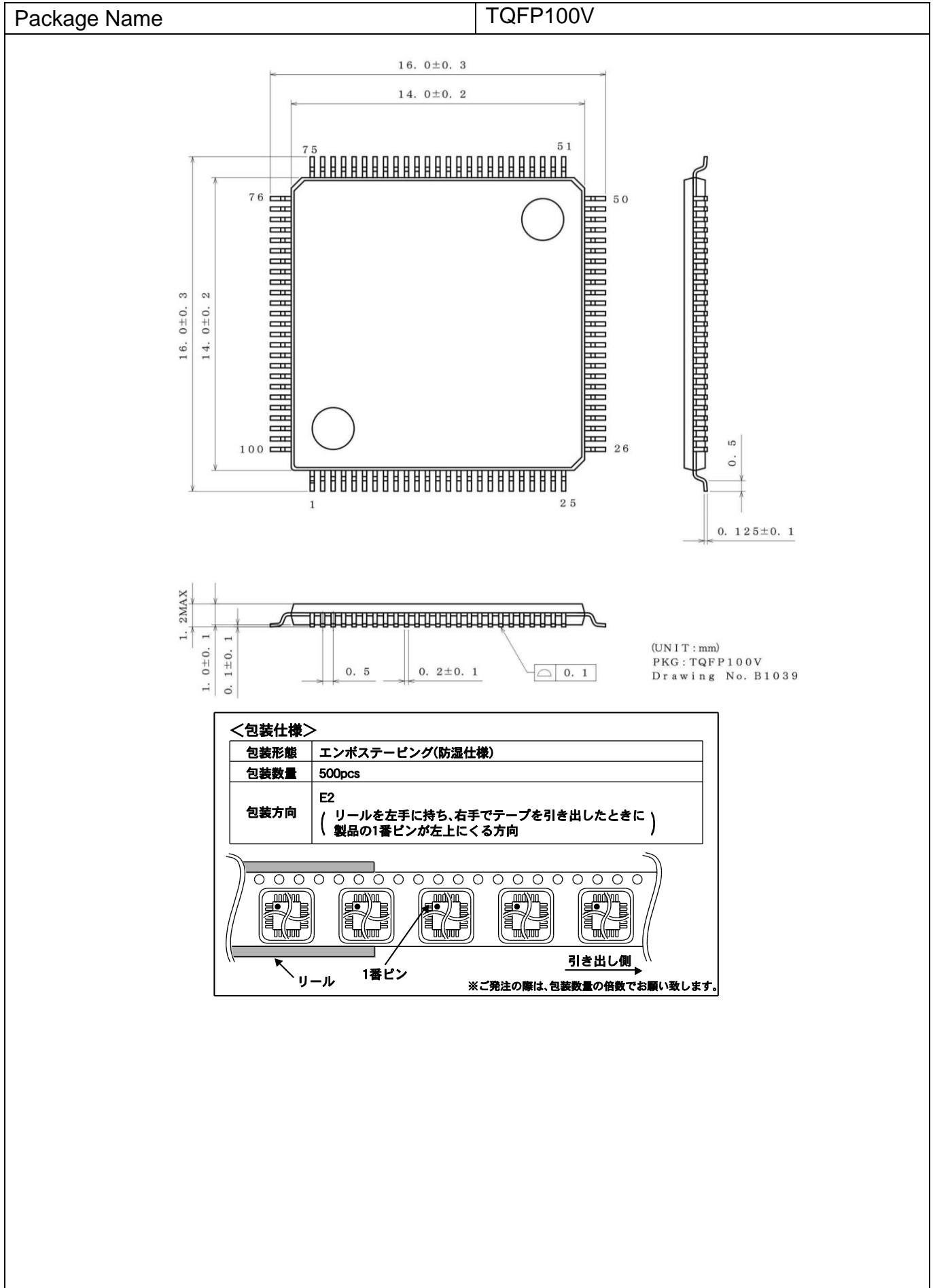
B U 9 7 5 3 0 K V T - E 2

品名	パッケージ KVT : TQFP100V	製品ランク 包装、フォーミング仕様 E2:リール状エンボステーピング
----	-------------------------	--

標印図



外形寸法図と包装・フォーミング仕様



改訂履歴

Version	date	description
001	2014.04.21	新規作成
002	2014.10.21	Page.8-15 シリアルデータ入力フォーマット修正 Wn0 削除(0に固定) Page.51 リセット状態表 Wn0 記載削除 Page.54 誤記修正
003	2015.03.02	Page.4 外部クロックデューティを追加 Page.5 Data Setup 時間 Min limit 変更 Page.5 Data Hold 時間 Min limit 変更 Page.5 SCE Wait 時間 誤記修正 Page.5 SCE Wait 時間 Min limit 変更 Page.5 SCE Setup 時間 Min limit 変更 Page.5 SCE Hold 時間 Min limit 変更 Page.5 "H" SCL パルス幅 Min limit 変更 Page.5 "L" SCL パルス幅(Write) Min limit 変更 Page.5 SDO 出力遅延時間 誤記修正 Page.5 SDO 立ち上がり時間 誤記修正 Page.5 Clock Cycle 時間 追加 Page.5 "L" SCL パルス幅(Read) 追加 Page.5 RPU と CL の説明を追加 Page.5 Figure 5. シリアルインタフェースタイミング SDO 信号、tccyc、tclwr を追加 Page.5 Figure 5. シリアルインタフェースタイミング tclw を tclww に変更 Page.5 Figure 5. シリアルインタフェースタイミング tchw 基準レベルを 50%から VIH1、VIH2 に変更 Page.5 Figure 5. シリアルインタフェースタイミング tclww 基準レベルを 50%から VIL1 に変更 Page.5 Figure 5. シリアルインタフェースタイミング(1. SCL が「L」レベルで停止している場合) tcp 削除 Page.5 Figure 5. シリアルインタフェースタイミング(2. SCL が「H」レベルで停止している場合) tcs 削除 Page.54、55 にトレイに関する包装仕様を追加
004	2015.08.18	Page.8-15 シリアルデータ入力フォーマット修正 FC3 追加
005	2019.01.11	Page.3 絶対最大定格 温度条件変更 Ta = 25°C → 削除 Page.3 絶対最大定格 電源電圧 変更 -0.3 ~ +6.5 → -0.3 ~ +7.0 Page.3 絶対最大定格 入力電圧 変更 -0.3 ~ +6.5 → -0.3 ~ +7.0 Page.3 絶対最大定格 入力電圧 OSC 端子 追加 Page.3 絶対最大定格 注意 2 追加(使用上の注意より転記) Page.3 電気的特性表に OSC 端子 追加 Page.4 発振周波数特性に外部クロック立ち上がり時間、外部クロック立ち下がり時間 追加 Page.6 端子説明 K11/S85 ~ K15/S89 の I/O、未使用時の処理 I/O 端子の入力端子の記載を追加 Page.6 端子説明 OSC/S90 の I/O、未使用時の処理 I/O 端子の入力端子の記載を追加 Page.16-20 制御データの詳細説明 リセット状態を追加 Page.16 3. FL: ライン反転/フレーム反転切替え制御データ説明追加 Page.17 7. OC: 内部発振モード/外部クロックモード切替え制御データ 外部クロック入力時の注意事項追加 Page.19 12. CT0、CT1、CT2、CT3: LCD 表示コントラスト設定切替え制御データ Note、LCD 表示コントラスト設定電圧表 追加 Page.50 外部クロックモード時のパワーセーブ動作について 追加 Page.51 電圧検出型リセット回路(VDET)について 説明追加、図修正 Note 番号の変更 誤記修正 日英間での記載内容の統一
006	2019.08.02	Page.9,11,13,15 注釈文追加

ご注意

ローム製品取扱い上の注意事項

1. 本製品は一般的な電子機器（AV 機器、OA 機器、通信機器、家電製品、アミューズメント機器等）への使用を意図して設計・製造されております。したがって、極めて高度な信頼性が要求され、その故障や誤動作が人の生命、身体への危険もしくは損害、又はその他の重大な損害の発生に関わるような機器又は装置（医療機器^(Note 1)、輸送機器、交通機器、航空宇宙機器、原子力制御装置、燃料制御、カーアクセサリを含む車載機器、各種安全装置等）（以下「特定用途」という）への本製品のご使用を検討される際は事前にローム営業窓口までご相談くださいますようお願い致します。ロームの文書による事前の承諾を得ることなく、特定用途に本製品を使用したことによりお客様又は第三者に生じた損害等に関し、ロームは一切その責任を負いません。

(Note 1) 特定用途となる医療機器分類

日本	USA	EU	中国
CLASS III	CLASS III	CLASS II b	Ⅲ類
CLASS IV		CLASS III	

2. 半導体製品は一定の確率で誤動作や故障が生じる場合があります。万が一、かかる誤動作や故障が生じた場合であっても、本製品の不具合により、人の生命、身体、財産への危険又は損害が生じないように、お客様の責任において次の例に示すようなフェールセーフ設計など安全対策をお願い致します。
 - ①保護回路及び保護装置を設けてシステムとしての安全性を確保する。
 - ②冗長回路等を設けて単一故障では危険が生じないようにシステムとしての安全を確保する。
3. 本製品は、一般的な電子機器に標準的な用途で使用されることを意図して設計・製造されており、下記に例示するような特殊環境での使用を配慮した設計はなされておられません。したがって、下記のような特殊環境での本製品のご使用に関し、ロームは一切その責任を負いません。本製品を下記のような特殊環境でご使用される際は、お客様におかれまして十分に性能、信頼性等をご確認ください。
 - ①水・油・薬液・有機溶剤等の液体中でのご使用
 - ②直射日光・屋外暴露、塵埃中でのご使用
 - ③潮風、Cl₂、H₂S、NH₃、SO₂、NO₂等の腐食性ガスの多い場所でのご使用
 - ④静電気や電磁波の強い環境でのご使用
 - ⑤発熱部品に近接した取付け及び当製品に近接してビニール配線等、可燃物を配置する場合。
 - ⑥本製品を樹脂等で封止、コーティングしてのご使用。
 - ⑦はんだ付けの後に洗浄を行わない場合(無洗浄タイプのフラックスを使用される場合は除く。ただし、残渣については十分に確認をお願いします。)又は、はんだ付け後のフラックス洗浄に水又は水溶性洗浄剤をご使用の場合
 - ⑧本製品が結露するような場所でのご使用。
4. 本製品は耐放射線設計はなされておられません。
5. 本製品単体品の評価では予測できない症状・事態を確認するためにも、本製品のご使用にあたってはお客様製品に実装された状態での評価及び確認をお願い致します。
6. パルス等の過渡的な負荷（短時間での大きな負荷）が加わる場合は、お客様製品に本製品を実装した状態で必ずその評価及び確認の実施をお願い致します。また、定常時での負荷条件において定格電力以上の負荷を印加されますと、本製品の性能又は信頼性が損なわれるおそれがあるため必ず定格電力以下でご使用ください。
7. 電力損失は周囲温度に合わせてディレーティングしてください。また、密閉された環境下でご使用の場合は、必ず温度測定を行い、最高接合部温度を超えていない範囲であることをご確認ください。
8. 使用温度は納入仕様書に記載の温度範囲内であることをご確認ください。
9. 本資料の記載内容を逸脱して本製品をご使用されたことによって生じた不具合、故障及び事故に関し、ロームは一切その責任を負いません。

実装及び基板設計上の注意事項

1. ハロゲン系（塩素系、臭素系等）の活性度の高いフラックスを使用する場合、フラックスの残渣により本製品の性能又は信頼性への影響が考えられますので、事前にお客様にてご確認ください。
2. はんだ付けは、表面実装製品の場合リフロー方式、挿入実装製品の場合フロー方式を原則とさせていただきます。なお、表面実装製品をフロー方式での使用をご検討の際は別途ロームまでお問い合わせください。その他、詳細な実装条件及び手はんだによる実装、基板設計上の注意事項につきましては別途、ロームの実装仕様書をご確認ください。

応用回路、外付け回路等に関する注意事項

1. 本製品の外付け回路定数を変更してご使用になる際は静特性のみならず、過渡特性も含め外付け部品及び本製品のバラツキ等を考慮して十分なマージンをみて決定してください。
2. 本資料に記載された応用回路例やその定数などの情報は、本製品の標準的な動作や使い方を説明するためのもので、実際に使用する機器での動作を保証するものではありません。したがって、お客様の機器の設計において、回路やその定数及びこれらに関連する情報を使用する場合には、外部諸条件を考慮し、お客様の判断と責任において行ってください。これらの使用に起因しお客様又は第三者に生じた損害に関し、ロームは一切その責任を負いません。

静電気に対する注意事項

本製品は静電気に対して敏感な製品であり、静電放電等により破壊することがあります。取り扱い時や工程での実装時、保管時において静電気対策を実施のうえ、絶対最大定格以上の過電圧等が印加されないようにご使用ください。特に乾燥環境下では静電気が発生しやすくなるため、十分な静電対策を実施ください。(人体及び設備のアース、帯電物からの隔離、イオナイザの設置、摩擦防止、温湿度管理、はんだごてのこて先のアース等)

保管・運搬上の注意事項

1. 本製品を下記の環境又は条件で保管されますと性能劣化やはんだ付け性等の性能に影響を与えるおそれがありますのでこのような環境及び条件での保管は避けてください。
 - ①潮風、Cl₂、H₂S、NH₃、SO₂、NO₂等の腐食性ガスの多い場所での保管
 - ②推奨温度、湿度以外での保管
 - ③直射日光や結露する場所での保管
 - ④強い静電気が発生している場所での保管
2. ロームの推奨保管条件下におきましても、推奨保管期限を経過した製品は、はんだ付け性に影響を与える可能性があります。推奨保管期限を経過した製品は、はんだ付け性を確認したうえでご使用頂くことを推奨します。
3. 本製品の運搬、保管の際は梱包箱を正しい向き(梱包箱に表示されている天面方向)で取り扱ってください。天面方向が遵守されずに梱包箱を落下させた場合、製品端子に過度なストレスが印加され、端子曲がり等の不具合が発生する危険があります。
4. 防湿梱包を開封した後は、規定時間内にご使用ください。規定時間を経過した場合はベーク処置を行ったうえでご使用ください。

製品ラベルに関する注意事項

本製品に貼付されている製品ラベルに2次元バーコードが印字されていますが、2次元バーコードはロームの社内管理のみを目的としたものです。

製品廃棄上の注意事項

本製品を廃棄する際は、専門の産業廃棄物処理業者にて、適切な処置をしてください。

外国為替及び外国貿易法に関する注意事項

本製品は外国為替及び外国貿易法に定める規制貨物等に該当するおそれがありますので輸出する場合には、ロームにお問い合わせください。

知的財産権に関する注意事項

1. 本資料に記載された本製品に関する応用回路例、情報及び諸データは、あくまでも一例を示すものであり、これらに関する第三者の知的財産権及びその他の権利について権利侵害がないことを保証するものではありません。
2. ロームは、本製品とその他の外部素子、外部回路あるいは外部装置等(ソフトウェア含む)との組み合わせに起因して生じた紛争に関して、何ら義務を負うものではありません。
3. ロームは、本製品又は本資料に記載された情報について、ロームもしくは第三者が所有又は管理している知的財産権その他の権利の実施又は利用を、明示的にも黙示的にも、お客様に許諾するものではありません。ただし、本製品を通常の用法にて使用される限りにおいて、ロームが所有又は管理する知的財産権を利用されることを妨げません。

その他の注意事項

1. 本資料の全部又は一部をロームの文書による事前の承諾を得ることなく転載又は複製することを固くお断り致します。
2. 本製品をロームの文書による事前の承諾を得ることなく、分解、改造、改変、複製等しないでください。
3. 本製品又は本資料に記載された技術情報を、大量破壊兵器の開発等の目的、軍事利用、あるいはその他軍事用途目的で使用しないでください。
4. 本資料に記載されている社名及び製品名等の固有名詞は、ローム、ローム関係会社もしくは第三者の商標又は登録商標です。

一般的な注意事項

1. 本製品をご使用になる前に、本資料をよく読み、その内容を十分に理解されるようお願い致します。本資料に記載される注意事項に反して本製品をご使用されたことによって生じた不具合、故障及び事故に関し、ロームは一切その責任を負いませんのでご注意願います。
2. 本資料に記載の内容は、本資料発行時点のものであり、予告なく変更することがあります。本製品のご購入及びご使用に際しては、事前にローム営業窓口で最新の情報をご確認ください。
3. ロームは本資料に記載されている情報は誤りがないことを保証するものではありません。万が一、本資料に記載された情報の誤りによりお客様又は第三者に損害が生じた場合においても、ロームは一切その責任を負いません。